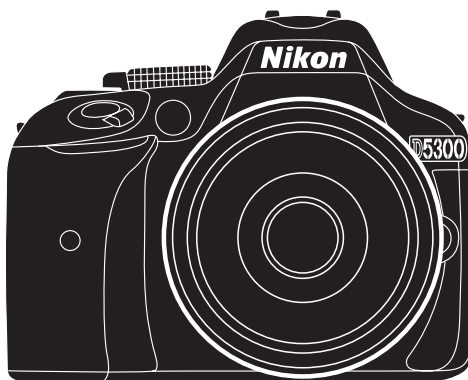


Nikon

デジタル一眼レフカメラ

D5300

使用説明書



Jp

ニコンデジタル一眼レフカメラをお買い上げくださいますと、誠にありがとうございます。お使いになる前に、使用説明書（本書）と活用ガイド（PDF形式、活用ガイドCD-ROMに収録）をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

カメラの基本的な使い方を 知りたいとき：

使用説明書（本書）をお読み
ください。



カメラの詳しい使い方を 知りたいとき：

活用ガイドCD-ROMに収録さ
れている活用ガイドをお読み
ください。



活用ガイドをご覧いただくためには、Adobe ReaderまたはAdobe Acrobat Reader 5.0以降が必要です。

- 1 パソコンを起動し、活用ガイドCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる
- 2 **Windowsの場合：** [コンピュータ]（Windows XPの場合は [マイコンピュータ]）ウィンドウを開き、CD-ROM（Nikon D5300）アイコンをダブルクリックする
Macintoshの場合： デスクトップのCD-ROM（**Nikon D5300**）アイコンをダブルクリックする
- 3 [INDEX.pdf] のアイコンをダブルクリックする
言語選択の画面が表示されます。言語をクリックすると、活用ガイドが表示されます。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

ヘルプ機能

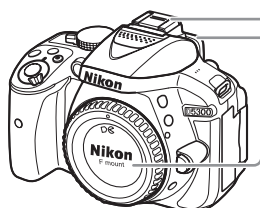
このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意味などを調べることができます。詳しくは□□59をご覧ください。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□□vii～xiiiをご覧ください。

カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。



□ D5300カメラ本体



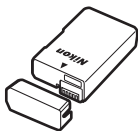
□ アクセサリーシューカバー BS-1



□ 接眼目当てDK-25



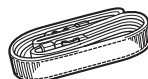
□ ボディーキャップBF-1B



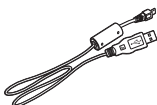
□ Li-ionリチャージャブル
バッテリー EN-EL14a
(端子カバー付)



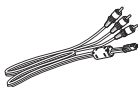
□ バッテリーチャージャー
MH-24



□ ストラップAN-DC3



□ USBケーブルUC-E17



□ オーディオビデオケーブル
EG-CP16



□ アイピースキャップDK-5

□ ViewNX 2 CD-ROM

□ 使用説明書（本書）

□ 活用ガイドCD-ROM（活用ガイド収録）

□ 保証書

□ 登録のご案内

- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- SDカードは付属していません。このカメラで使えるSDカードについては、□□72をご覧ください。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。
- 万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

本文中のマークについて

本書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

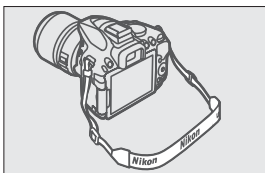


本書上で関連情報が記載されているページです。

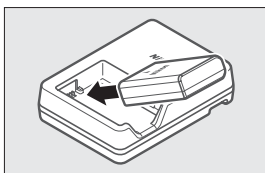
すぐに撮影する方のために

次の手順で操作すると、すぐに撮影ができます。

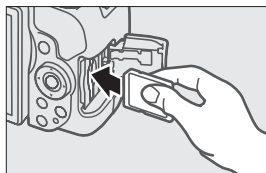
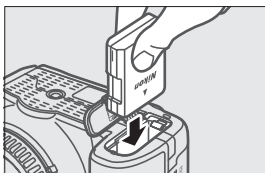
1 カメラにストラップを取り付ける (2カ所) (□9)



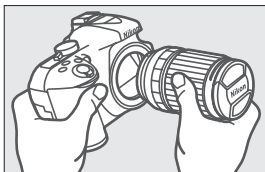
2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する (□9)



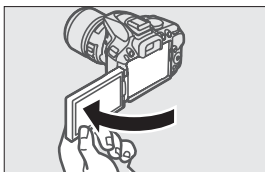
3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる (□9)



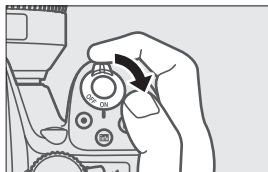
4 レンズを取り付ける (□10)



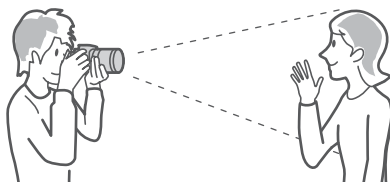
5 液晶モニターを開く (□6、11)



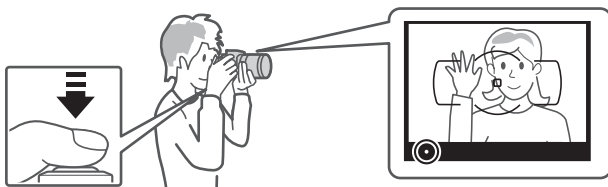
6 カメラの電源をONにして日付と時刻を設定する (11)



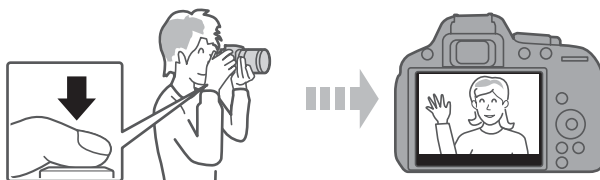
7 カメラを構えて構図を決める (18)



8 シャッターボタンを軽く押して (半押しして)、ピントを合わせる (19)



9 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで (全押しして)、撮影する (19)



目次

カメラと付属品を確認する	i
すぐに撮影する方のために	ii
安全上のご注意	vii
ご確認ください	xii
位置情報機能について	xiv
Wi-Fi（無線 LAN）機能について	xv

お使いになる前に 1

各部の名称	1
-------------	---

撮影前の準備をする 9

かんたんに静止画 / 動画を撮影する (AUTO オート / 発光禁止オート) 17

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する	18
撮影した画像を再生する（1 コマ表示モード）	20
不要な画像を削除する	21
液晶モニターを見ながら静止画を撮影する（ライブビュー撮影）	23
撮影した画像を再生する（1 コマ表示モード）	26
不要な画像を削除する	26
動画を撮影する	27
撮影した動画を再生する	30
不要な動画を削除する	31

被写体や状況に合わせて撮影する（シーンモード） 32

 （ポートレート）	33
 （風景）	33
 （こどもスナップ）	33
 （スポーツ）	33
 （クローズアップ）	33
 （夜景ポートレート）	34
 （夜景）	34
 （パーティー）	34
 （海・雪）	34
 （夕焼け）	34
 （トワイライト）	35
 （ペット）	35
 （キャンドルライト）	35
 （桜）	35
 （紅葉）	35
 （料理）	35

特殊効果をつけて撮影する（スペシャルエフェクトモード）	36
 （ナイトビジョン）.....	36
 （カラースケッチ）.....	37
 （トイカメラ風）.....	37
 （ミニチュア効果）.....	37
 （セレクトカラー）.....	37
 （シルエット）.....	38
 （ハイキー）.....	38
 （ローキー）.....	38
 （HDR ペインティング）.....	38
P、S、A、M モードで撮影する	46
P：プログラムオート.....	47
S：シャッター優先オート.....	47
A：絞り優先オート.....	47
M：マニュアル.....	47
画像の明るさを調整する（露出補正）.....	49
位置情報機能を使う	50
位置情報を記録しながら撮影する.....	50
Wi-Fi を使う	53
Wi-Fi を使ってできること.....	53
カメラとスマートデバイスを接続する.....	54
WPSプッシュボタン接続でスマートデバイスと接続する (Android OS のみ).....	55
スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して接続する (Android OS のみ).....	56
カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する (Android OS/iOS).....	57
メニューを使う	59
メニュー項目の一覧.....	60
ViewNX 2	64
ViewNX 2 をインストールする.....	64
ViewNX 2 を使う.....	66
パソコンに画像を取り込む.....	66
画像を見る.....	67

使用できるレンズ.....	68
使用できるアクセサリ	69
推奨 SD カード	72
カメラのお手入れについて	73
保管について	73
クリーニングについて	73
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	74
カメラの取り扱い上のご注意	74
バッテリーの取り扱いについて	75
警告メッセージ	76
主な仕様	79
アフターサービスについて	89

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告（カメラとレンズについて）



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

バッテリー、電源を抜いて、二コンサービス機関に修理を依頼してください。



バッテリーを取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。
バッテリーを抜いて、二コンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

警告 (カメラとレンズについて)



使用禁止

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと
失明や視力障害の原因となります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害の原因となります。
撮影時には、1m以上離れてください。
特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。



警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと
首に巻き付いて窒息の原因となります。



使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



警告

指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること
指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

注意 (カメラとレンズについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



使用注意

カメラの電源がONの状態、長時間直接触れないこと
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届くところに置かない
ケガの原因になることがあります。



使用注意

逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらすこと
太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶついたりして、ケガの原因となる場合があります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする
また、搭乗前にGPSの位置情報機能もOFFにする
飛行中は無線通信機能を使わない
病院では、病院の指示に従う
本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。

注意 (カメラとレンズについて)

-  **バッテリーを取る** 長期間使用しないときは電源 (バッテリーやACアダプター) を外すこと
バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
-  **プラグを抜く** ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
-  **発光禁止** 内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因となることがあります。
-  **禁止** 布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
-  **放置禁止** 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因となることがあります。
-  **禁止** 付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

危険 (専用リチウムイオン充電電池について)

-  **禁止** バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **分解禁止** バッテリーを分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **危険** バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。
-  **危険** 専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **危険** ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
-  **使用禁止** Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aに対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aは、D5300に対応しています。
-  **危険** バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておく、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用リチウムイオン充電電池について)

-  **保管注意** バッテリーは、幼児の手の届くところに置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
-  **水かけ禁止** 水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。
-  **警告** 変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告（専用リチウムイオン充電機について）



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点
部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関やリサ
イクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意（専用リチウムイオン充電機について）



使用注意

充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと
充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

警告（チャージャーについて）



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜く
こと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス
機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用
すると、爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



感電注意

ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと
感電の原因になることがあります。



禁止

チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバー
ターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。

注意 (チャージャーについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



使用注意

通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと

通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



放置注意

製品は、幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにしないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

● カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

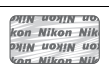
● 大切な撮影の前には試し撮り

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書および活用ガイドのPDFファイルをダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

- SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] (□50) を [しない] にしてから、SDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、ホワイトバランスのプリセットマニュアル画像も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。
- セットアップメニュー [位置情報] の [ログリスト] では、SDカード内の全てのログファイルを削除できます。
- Wi-Fi接続設定は、セットアップメニュー [Wi-Fi] → [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください (□58)。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i)AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリ使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリについての最新情報は、最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください (□xii)。

位置情報機能について

- セットアップメニュー「位置情報」の「位置情報記録」を「する」にしているときやログの取得中は、カメラの電源をOFFにした後も位置情報機能やログ取得機能が作動します（□□50）。航空機内や病院などの使用禁止・制限区域では、必ず「位置情報記録」を「しない」にしてからカメラの電源をOFFにしてください。カメラが出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルを、他人へ譲渡したりインターネットなど複数の人が閲覧できる環境に掲載したりする場合はご注意ください。「カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（□□xiii）も必ずお読みください。
- このカメラが計測する情報は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 登山やトレッキングなどでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近などでは、位置情報機能が正常に機能しない場合があります（2013年11月現在）。
- 位置情報機能付きカメラを外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。中国など、国によっては、政府の許可なしに位置情報機能を使用できないことがあります。「位置情報記録」を「しない」にしてご使用ください。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品のWi-Fiの無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。ご購入された国がわからないときは、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

2.4	DS4	/ OF4
-----	-----	-------

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、**Wi-Fi**アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - **AV**機器、**OA**機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、**Wi-Fi**（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- **Wi-Fi** 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、無線LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上で使用ください。
- セキュリティー設定は、専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」(□□54) を使って行うことができます。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しようとしなくてください。接続しようとすると、不正アクセスとみなされる恐れがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（**EAR**）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

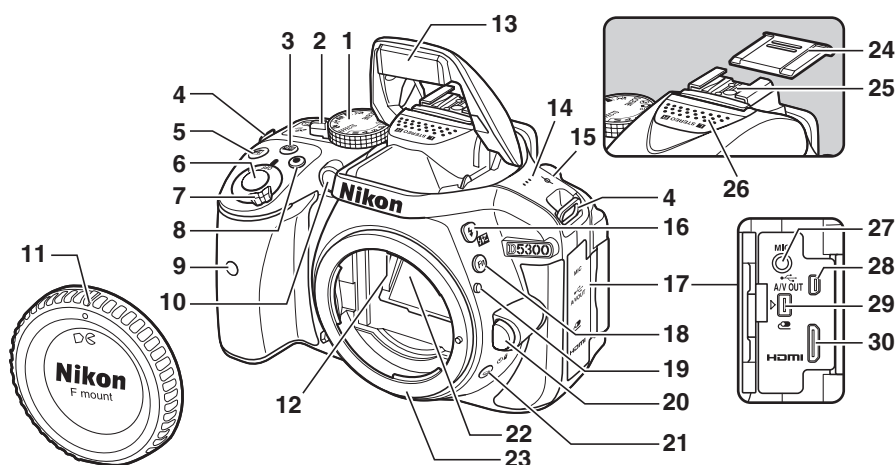
● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、**Wi-Fi**（無線**LAN**）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/ 廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、**Wi-Fi**接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー **[Wi-Fi]** → **[接続設定]** → **[接続設定のリセット]** で工場出荷時の設定にリセットしてください (□□58)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

お使いになる前に

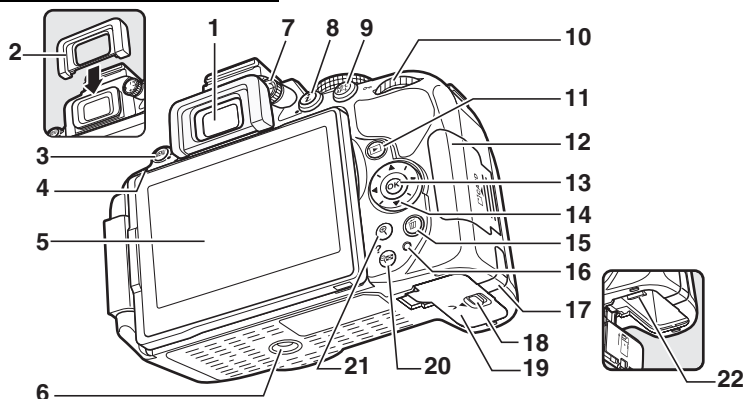
各部の名称

カメラ本体



1	撮影モードダイヤル.....	3	10	AF補助光ランプ セルフタイマーランプ 赤目軽減ランプ	21	☑ (📷/📹) ボタン.....	4
2	ライブビュースイッチ ライブビュー.....	23				連写で撮影する.....	4
	動画.....	27	11	ボディーキャップ		セルフタイマーを使って撮影 する.....	4
3	Info ボタン インフォ画面表示.....	7	12	レンズ信号接点		リモコン撮影する.....	4
4	ストラップ取り付け部 (吊り金具).....	9	13	内蔵フラッシュ.....	22	22	ミラー.....
			14	スピーカー.....	2	23	レンズマウント.....
5	☑ (📷) ボタン 露出補正.....	49	15	☑ 距離基準マーク		24	アクセサリシューカバー
	絞り値の設定.....	47	16	⚡ (📷) ボタン.....	35、46	25	フラッシュ取り付け部 (アクセサリシュー)
	フラッシュ調光補正			フラッシュモード フラッシュ調光補正		26	マイク (ステレオ).....
6	シャッターボタン.....	19、22	17	端子カバー		27	外部マイク入力端子.....
7	電源スイッチ.....	2	18	Fn ボタン.....	60	28	USB/オーディオビデオ出力端子 パソコンと接続する.....
8	動画撮影ボタン.....	27	19	レンズ着脱指標.....	10	29	アクセサリターミナル.....
9	ML-L3用リモコン受光部 (前面).....	71	20	レンズ取り外しボタン.....	16	30	HDMIミニ端子

カメラ本体（つづき）



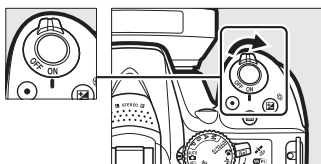
1	ファインダー接眼窓..... 5、12	9	再生 () ボタン 60 画像を保護する (プロテクト)	19	バッテリー室カバー 9、14
2	接眼目当て	10	コマンドダイヤル	20	Q (?) ボタン 縮小/サムネイル表示..... 20 ヘルプ 59
3	MENU ボタン メニュー 59	11	再生 20	21	Q ボタン 20 拡大表示
4	ML-L3用リモコン受光部 (背面) 71	12	SDカードカバー 9	22	バッテリーロックレバー 9、14
5	液晶モニター 撮影時の設定を確認する 7 ライブビューで撮影する... 23 撮影した画像を確認する 20	13	OK ボタン 62		
6	三脚ネジ穴	14	マルチセレクト 62		
7	視度調節ダイヤル 12	15	削除ボタン 再生中の画像を削除する 21		
8	i ボタン 撮影時の設定を変更する 8	16	SDカードアクセスランプ 19		
		17	パワーコネクターカバー		
		18	バッテリー室カバー開閉ノブ 9、14		

✓ スピーカーについてのご注意

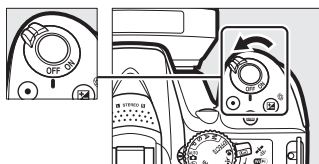
スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。

電源スイッチ

電源スイッチを矢印の方向に回して「ON」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がONになります。



電源スイッチを矢印の方向に回して「OFF」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がOFFになります。



撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。

P、S、A、Mモード

シャッタースピードや絞り値、各種設定を自分で決めて、より本格的な撮影を楽しむことができる撮影モードです。

P：プログラムオート (□46、47)

S：シャッター優先オート (□46、47)

A：絞り優先オート (□46、47)

M：マニュアル (□46、47)

スペシャルエフェクトモード

特殊効果をつけて撮影できる撮影モードです。

 **ナイトビジョン** (□36)

 **カラースケッチ** (□37、40)

 **トイカメラ風** (□37、41)

 **ミニチュア効果** (□37、42)

 **セレクトカラー** (□37、44)

 **シルエット** (□38)

 **ハイキー** (□38)

 **ローキー** (□38)

 **HDRペインティング** (□38)

オートモード

撮影状況に合わせて、各種設定をカメラが自動的にコントロールするので、カメラまかせで簡単に撮影することができます。デジタル一眼レフカメラを初めてお使いになる方におすすめの撮影モードです。

 **オートモード** (□18)

 **発光禁止オートモード** (□18)

シーンモード

撮影シーンに合わせて、各種設定をカメラが自動的にコントロールするので、撮影シーンが決まっているときにおすすめの撮影モードです。

 **ポートレートモード** (□33)

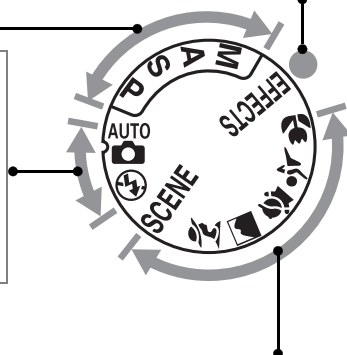
 **風景モード** (□33)

 **こどもスナップモード** (□33)

 **スポーツモード** (□33)

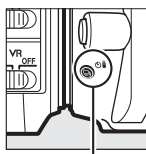
 **クローズアップモード** (□33)

SCENE：その他のシーンモード (□34)



📷 (📷/📷) (リリースモード) ボタン

📷 (📷/📷) ボタンを押すと、シャッターをきる（リリースする）ときの動作（リリースモード）の選択画面が表示されます。マルチセクターの▲▼◀▶を押してカーソルを動かし、OKボタンを押して決定します。

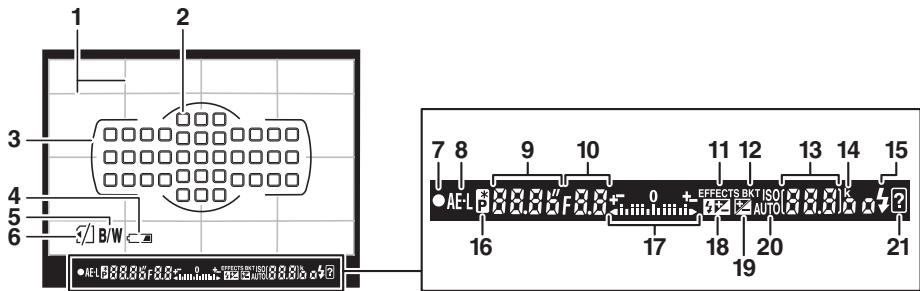
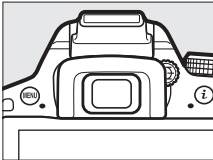


📷 (📷/📷) ボタン



📷 1 コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影できます。
📷 L 低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、低速連続撮影します。
📷 H 高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、高速連続撮影します。
📷 静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。
📷 セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。シャッターボタンを全押しすると、カウントダウンが始まり、約10秒後にシャッターがきれます。
📷 2s 2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2秒後にシャッターがきれます。
📷 瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。

ファインダー (説明のため、全ての表示を点灯させています)



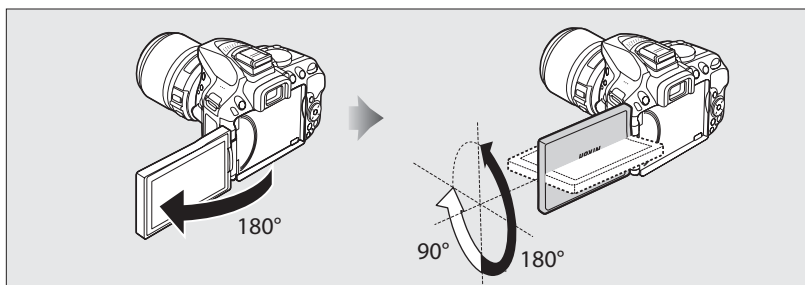
1	構図用格子線 (カスタムメニューd2 [ファインダー内格子線表示] を [する] に設定している場合のみ表示されます)	6	カードなしマーク 9	14	1000コマ以上補助表示..... 12
2	フォーカスポイント表示..... 19	7	ピント表示..... 19	15	レディーライト 22
3	AFエリアフレーム 12、18	8	AEロックマーク	16	プログラムシフトマーク
4	バッテリー警告表示 14	9	シャッタースピード 48	17	インジケーター 露出 48 露出補正 49 フォーカスイド
5	白黒マーク (撮影モードが [] の場合、ピクチャーコントロールが [モノクローム] の場合または [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールの場合にのみ表示されます) 8、36	10	絞り値 48	18	フラッシュ調光補正マーク
		11	スペシャルエフェクト モード表示..... 36	19	露出補正マーク 49
		12	オートブラケティングマーク 8	20	ISO-AUTOマーク
		13	記録可能コマ数..... 12	21	警告表示 76
			連続撮影可能コマ数..... 19		
			ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得 モード表示 露出補正值 49 フラッシュ調光補正值 ISO感度..... 8		

ファインダーについて

ファインダー内の表示の応答速度や明るさは、温度によって変化しますが、故障ではありません。

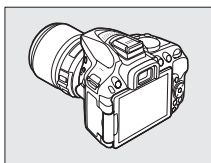
液晶モニター

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を変えて使えます。



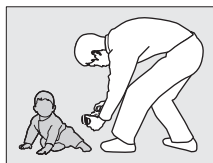
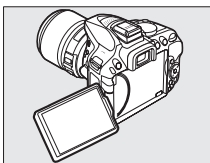
通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を外側にしてカメラ本体に収納した状態でお使いいただくことをおすすめします。



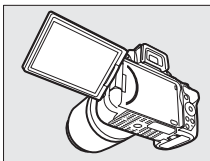
ローアングル撮影

ライブビュー撮影時、低い位置にある被写体の撮影に便利です。



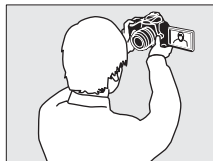
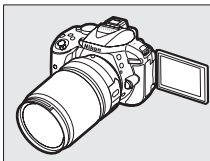
ハイアングル撮影

ライブビュー撮影時、高い位置にある被写体や人越しの撮影に便利です。



セルフポートレート撮影

- ライブビュー撮影でのセルフポートレートの撮影に便利です。
- 液晶モニターには鏡に映ったような状態（鏡像）で表示されますが、画像はカメラから見た状態（正像）で記録されます。



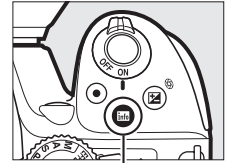
液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、カメラ本体との接続部の破損の原因となります。
- 液晶モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。

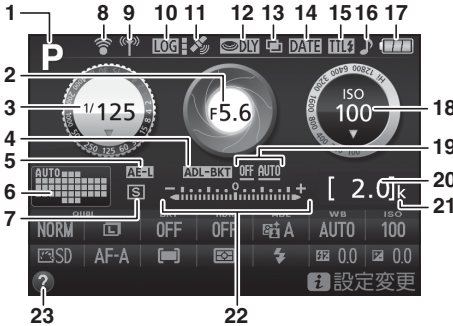
液晶モニター表示

■ インフォ画面 (説明のため、全ての表示を点灯させています)

info ボタンを押すと、液晶モニターに次のようなインフォ画面が表示されます。



info ボタン



1	撮影モード AUTO (オート) または (発光禁止 オート) で撮影する..... 17 シーンに合わせて撮影する ... 32 特殊効果をつけて撮影する 36 撮影モードP、S、A、Mを使う 46	7	レリーズモード..... 4	19	ADLブラケティング度合い 表示
2	絞り値 48 絞りイメージ..... 48	8	Eye-Fi通信マーク	20	記録可能コマ数..... 12 ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モー ド表示 PCカメラモード表示
3	シャッタースピード..... 48 シャッタースピードイメージ 48	9	Wi-Fi通信表示 58	21	1000コマ以上補助表示 12
4	オートブラケティングマーク 8	10	ログ取得表示	22	インジケーター 露出 48 露出補正 49 AEブラケティング WBブラケティング
5	AEロックマーク	11	衛星受信状態マーク 51	23	ヘルプあり表示..... 76
6	オートエリアAF設定マーク 3D-トラッキング設定マーク フォーカスポイント..... 19	12	露出デレモードマーク 60		
		13	多重露出マーク 60		
		14	デート写し込み設定マーク 60		
		15	フラッシュ発光方式マーク スピードライト調光補正 マーク		
		16	電子音マーク 60		
		17	バッテリー残量表示..... 14		
		18	ISO感度 8 ISO感度イメージ ISO-AUTOマーク		

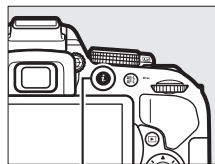
✏ 液晶モニター (インフォ画面) を消灯するには

- ・シャッターボタンを半押しする
- ・インフォ画面の表示中に、**info** ボタンを押す

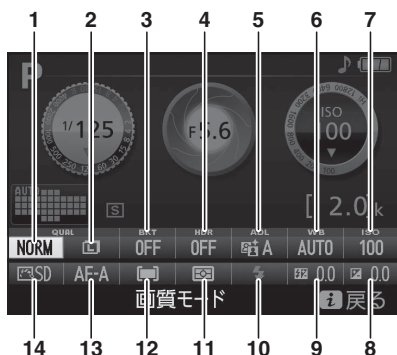
操作を行わないまま約8秒経過したときも、インフォ画面は消灯します (液晶モニターが消灯するまでの時間は、カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間] (□60) で変更できます)。

■ 撮影時の設定を変更する

i ボタンを押すと、インフォ画面下部に表示されている撮影時の設定を変更できる画面に切り替わります。マルチセクターの▲▼◀▶を押してカーソルを動かし、項目を選んでⓀボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



i ボタン

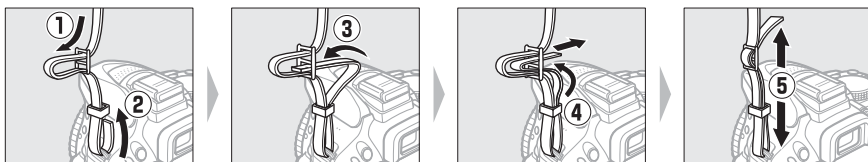


1	画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。
2	画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
3	オートブラケティング	明るさ（露出）、ホワイトバランス、またはアクティブD-ライティングの設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。
4	HDR（ハイダイナミックレンジ）	露出が異なる2枚の画像を撮影して合成することにより、シャドウ部からハイライト部まで幅広く再現された画像を記録できます。
5	アクティブD-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像になります。
6	ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。
7	ISO感度	ISO感度を設定できます。
8	露出補正	画像全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりできます。
9	フラッシュ調光補正	フラッシュの発光量を補正できます。
10	フラッシュモード	フラッシュのモードを設定できます。
11	測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。
12	AFエリアモード	オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントの選び方を設定できます。
13	フォーカスモード	フォーカスモード(ピントの合わせ方)を選べます。
14	ピクチャーコントロール	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。

撮影前の準備をする

バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

1 カメラにストラップを取り付ける (2カ所)



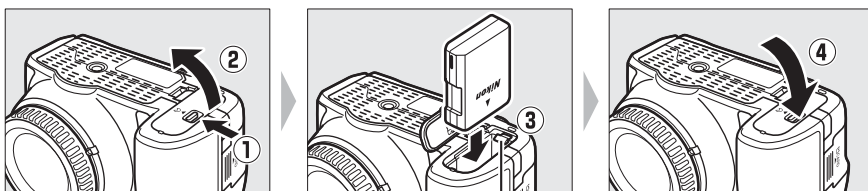
2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する

- フル充電するには約1時間50分かかります (残量の無いバッテリーの場合)。



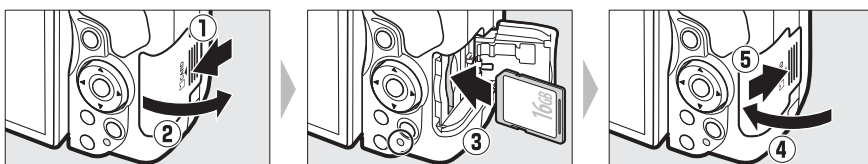
3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーとSDカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。



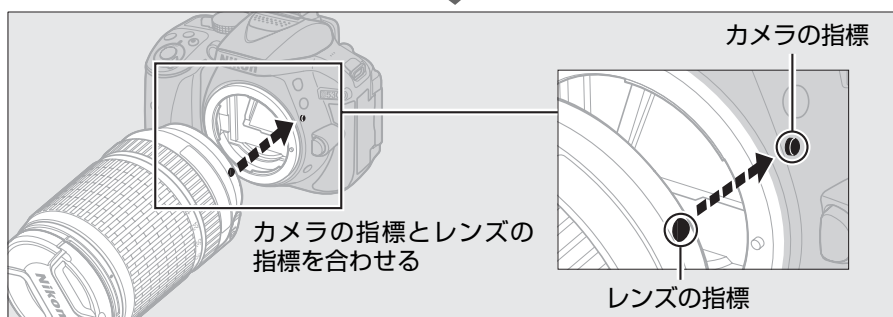
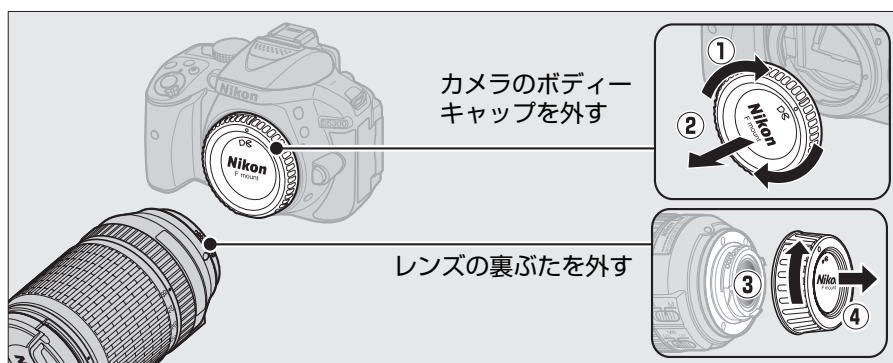
バッテリーロックレバー

- SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。

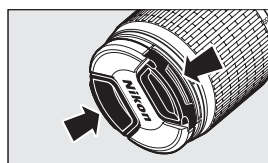


4 レンズを取り付ける

- ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。

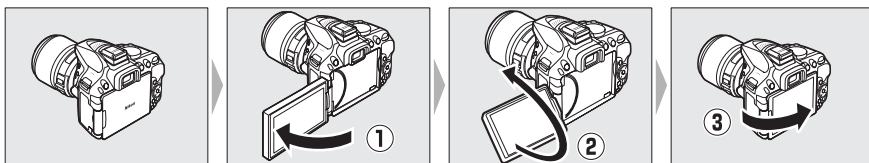


- 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

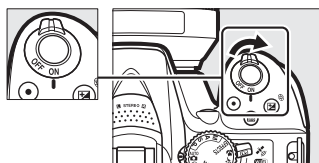


5 液晶モニターを開く

- 液晶モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。



6 カメラの電源をONにする



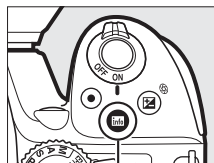
7 日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの▲または▼を押して、選択中の項目の数値を合わせ、◀または▶で項目を移動します。
- 日付と時刻の設定を完了したら、OK ボタンを押します。



8 バッテリーとSDカードを確認する

- **info** ボタンを押すと、バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数（これから撮影できる枚数）を液晶モニターで確認できます。



info ボタン

バッテリー残量
(14)

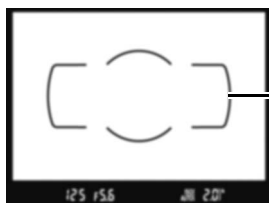
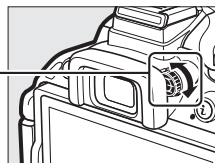
- 記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。



記録可能コマ数

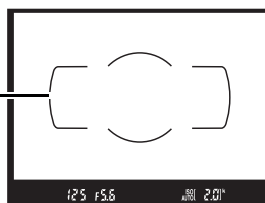
9 ファインダーを見やすくする

- ファインダーで構図を決めながら撮影する場合は、あらかじめ、ファインダー内がはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回して調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、AFエアフレームが最もはっきり見えるように調節してください。



視度調節前

AFエアフレーム



視度調節後

✓ チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャーMH-24に対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャーMH-24で充電しないでください。

✓ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く（1秒間に8回）点滅する場合

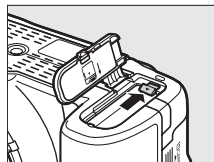
- **バッテリーのセットミス**：チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- **指定温度外での使用**：チャージャーを指定温度範囲内（0℃～40℃）でお使いください。
- さらに不具合が続く場合は、ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

✓ バッテリーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」（□vii～xi）、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」（□74～75）をお読みにになり、記載事項をお守りください。
- バッテリーは0℃～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃～15℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開けてください。バッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いて取り出してください。



バッテリー残量

バッテリー残量は、インフォ画面で確認できます。残量が少なくなると、ファインダーにバッテリー警告が表示されます。

-  ボタンを押してもインフォ画面が表示されない場合、バッテリー残量がありません。



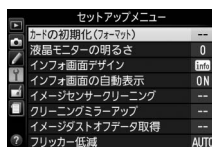
液晶モニター	ファインダー	意味
	—	残量は充分に残っています。
	—	残量が減り始めました。
		残量は残りわずかです。
 (点滅)	 (点滅)	残量がなくなりました。バッテリーを充電してください。

✓ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
 - SDカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

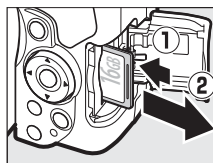
✓ SDカードのフォーマット

このカメラに初めて入れるSDカードや、他の機器でフォーマットされたSDカードは、セットアップメニュー[カードの初期化(フォーマット)] (□61)で、画面の指示に従ってフォーマットしてください。**SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。**必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください。



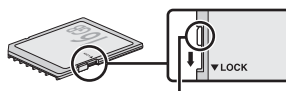
✍ SDカードを取り出すときは

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセスランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてください。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押し込むと (①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。



✍ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

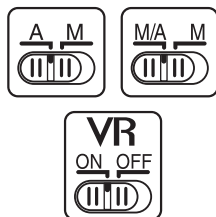
- SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。
- 「LOCK」したSDカードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告音が鳴り、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。



書き込み禁止
スイッチ

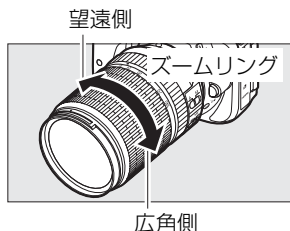
🔪 レンズのフォーカスモードと手ブレ補正機能について

- レンズのフォーカスモードが切り換えられる場合は、オートフォーカス（**A**、**M/A**、または**A/M**）に設定してください（使用できるレンズについては、□68をご覧ください）。
- 手ブレ補正機能を使うときは、手ブレ補正スイッチをONにしてください。



🔪 ズームレンズの使い方

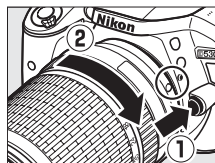
被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側（焦点距離目盛の大きい数値側）に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側（焦点距離目盛の小さい数値側）に回してください。



🔪 レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら（①）、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し（②）、引き抜いてください。

- レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



🔪 カメラの内蔵時計について

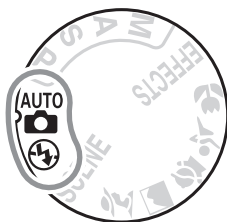
カメラの内蔵時計は、一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

🔪 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入ると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニターに「日時未設定」と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

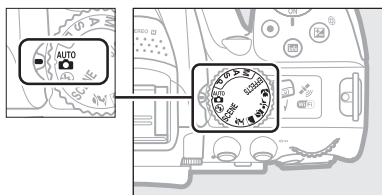
かんたんに静止画/動画を撮影する (AUTO オート/⚡発光禁止オート)

撮影モード **AUTO** (オート) と **⚡** (発光禁止オート) を使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影と動画撮影を楽しむことができます。**AUTO** の場合は、必要に応じてフラッシュが光ります。フラッシュを光らせずに撮影したいときは、**⚡** で撮影してください。



カメラの電源をONにして、カメラ上面の撮影モードダイヤルを **AUTO** または **⚡** に合わせます。

撮影モードダイヤル



ファインダーを
のぞいて撮影する



- | | |
|------------|----|
| 静止画を撮影するには | 18 |
| • 再生するには | 20 |
| • 削除するには | 21 |

液晶モニターを
見ながら撮影する



- | | |
|------------|----|
| 静止画を撮影するには | 23 |
| • 再生するには | 26 |
| • 削除するには | 26 |



- | | |
|-----------|----|
| 動画を撮影するには | 27 |
| • 再生するには | 30 |
| • 削除するには | 31 |

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する

1 カメラを構える

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。

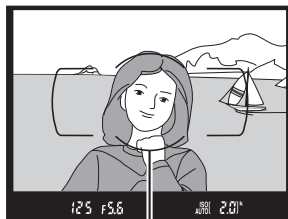


- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。



2 構図を決める

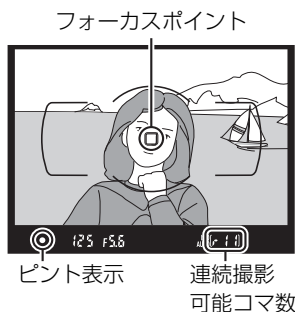
- ファインダーをのぞいて、構図を決めてください。
- 被写体をAFエリアフレーム内に配置します。



AFエリアフレーム

3 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、ピントを合わせる

- 暗い場所などでは、AF補助光が光ったり内蔵フラッシュが上がる場合があります。



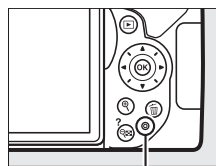
- ピントが合うと、ピピッと電子音が鳴り、ファインダー内のピント表示（●）が点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。

ファインダー内ピント表示	意味
●（点灯）	被写体にピントが合っています。
●（点滅）	オートフォーカスでのピント合わせができません（□77）。

- ピントが合った位置には、フォーカスポイントが表示されます。

4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。



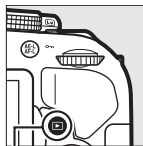
SDカード
アクセスランプ

- 撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。



撮影した画像を再生する（1コマ表示モード）

□ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



□ボタン

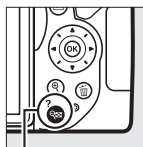


- マルチセクターの◀または▶を押すと、他の画像を表示できます。

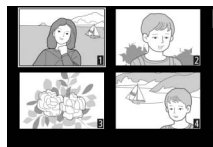


複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

- 1コマ表示モードでQ(?)ボタンを押すと、ボタンを押すたびに4コマ表示、12コマ表示、80コマ表示の順に切り換えられます。
- Qボタンを押すと、表示コマ数が少なくなります。
- ▲▼◀▶を押すかコマンドダイヤルを回して画像を選び、OKボタンを押すと1コマ表示モードで画像を表示します。



Q(?)ボタン



撮影した日付ごとに画像を表示する（カレンダー表示モード）

- 80 コマ表示時に Q(?) ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。
- ▲▼◀▶を押して「カレンダー表示」上の日付を選んで、Q(?) ボタンを押すと、指定した日付に撮影した画像を選べます。
- 「カレンダー表示」上の日付を選んでQボタンを押すと、80コマ表示のサムネイル表示に切り替わります。

撮影日サムネイル表示



カレンダー表示

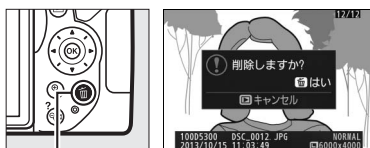
不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示する



▶ボタン

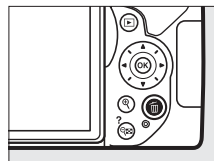
2 𠂔ボタンを押す



𠂔ボタン

3 もう一度𠂔ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。



シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む（これを「シャッターボタンを全押しする」といいます）と、シャッターがきれます。



- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになります。何も操作が行われないまま約8秒経過すると半押しタイマーがオフになり、ファインダー内表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間] (□60) で変更できます。

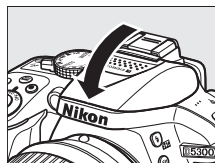
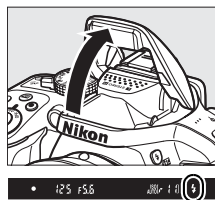


内蔵フラッシュについて

撮影モード では、シャッターボタンを半押しすると必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がります。

- ファインダー内に (レディーライト) が点灯しているとき：シャッターボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。
- 内蔵フラッシュが上がっている状態で が点灯していないとき：フラッシュが充電中のため、撮影できません。

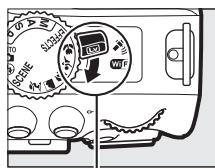
内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。フラッシュを使わないときは常に収納してください。



液晶モニターを見ながら静止画を撮影する (ライブビュー撮影)

1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

2 カメラを構える

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。



3 シャッターボタンを軽く押して(半押しして)、ピントを合わせる

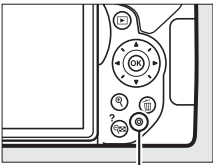
- フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、ピントが合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。



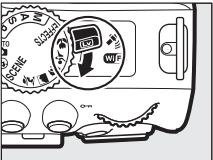
フォーカスポイント

4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）撮影する

- 撮影時は液晶モニターが消灯します。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。
- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。



SDカード
アクセスランプ



おまかせシーン

撮影モードダイヤルが☺または④のときにライブビューに切り換えると、オートフォーカスに設定している状態では、「おまかせシーン」になります。

- おまかせシーンでは、カメラが撮影シーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定します。
- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだ撮影モードのアイコンが表示されます。



	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識なかった場合
	発光禁止オート	☺または④に適したシーンの場合

ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に記録される画像に影響はありません。

- 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
- カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
- カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 輝点が発生する

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの〔フリッカー低減〕(□61)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。

- 液晶モニターを閉じると（テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く）、ライブビュー撮影を終了します。

- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。

- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。

- 撮影時の気温が高い場合
- ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
- 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブビューを一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

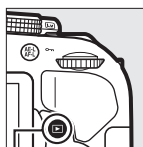
ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します。

- カスタムメニュー c2 〔パワーオフ時間〕(□60) の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。

撮影した画像を再生する（1コマ表示モード）

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



▶ボタン

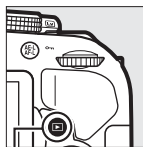


- マルチセクターの◀または▶を押すと、他の画像を表示できます。



不要な画像を削除する

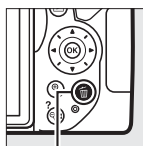
1 削除したい画像を表示する



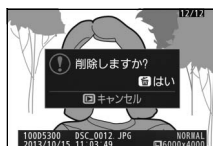
▶ボタン



2 𠂆ボタンを押す

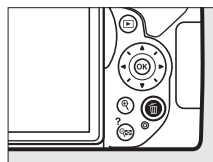


𠂆ボタン



3 もう一度𠂆ボタンを押す

- 表示中の画像が削除されます。

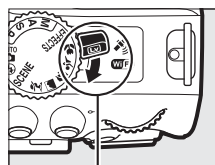


動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。

1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

2 カメラを構える

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。



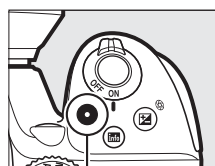
3 シャッターボタンを軽く押して(半押しして)、ピントを合わせる



フォーカスポイント

4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 録画中は録画中マークが液晶モニターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の目安も液晶モニターで確認できます。



動画撮影ボタン

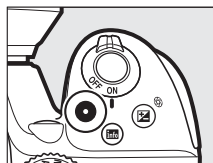
録画中マーク



残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。



動画撮影について

- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。
- (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

最長記録時間

1回の撮影で記録できる動画の最長記録時間は、撮影メニュー「動画の設定」の「画像サイズ/フレームレート」と「動画の画質」の組み合わせによって異なります。

	画像サイズ/フレームレート		最長記録時間 (「動画の画質」※3の設定： ★高画質/標準) ※4
	解像度 (ピクセル)	フレームレート※1,2	
	1920×1080	60p	10分/20分
	1920×1080	50p	
	1920×1080	30p	
	1920×1080	25p	20分/ 29分59秒
	1920×1080	24p	
	1280×720	60p	
	1280×720	50p	
	640×424	30p	29分59秒/ 29分59秒
	640×424	25p	

※1 60p：59.94コマ/秒 (fps)、50p：50コマ/秒、30p：29.97コマ/秒、25p：25コマ/秒、24p：23.976コマ/秒

※2 60p/30pは、セットアップメニューの「ビデオ出力」(□61)が「NTSC」の場合に選べます。
50p/25pは、「ビデオ出力」が「PAL」の場合に選べます。

※3 「動画の画質」が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

※4 の場合、最長記録時間は3分です。

ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光された場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - 撮影モードダイヤルを回した場合
 - 液晶モニターを閉じた場合（テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く）
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に動画撮影を終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブビューおよび動画撮影を一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク（□1）を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- 次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）をONにした場合

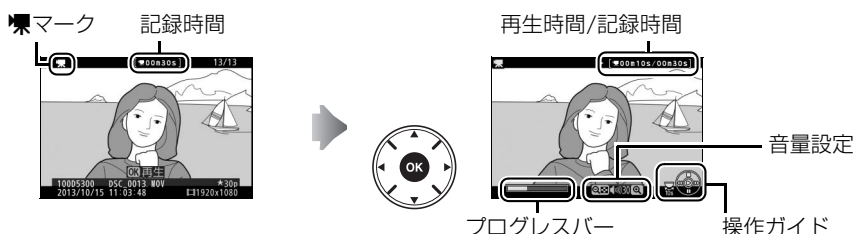
撮影した動画を再生する

▶ボタンを押して、●マークが表示されている画像を表示します（1コマ表示モード）。



▶ボタン

- OKボタンを押して動画を再生します。



■動画再生時の操作方法

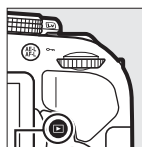
一時停止する		マルチセレクトターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中に●OKボタンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		- 再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 ◀を押し続けると、最初のコマに移動し、▶を押し続けると、最後のコマに移動します。 - 先頭フレームには▶アイコンが、最終フレームには◀アイコンが、画面右上に表示されます。
コマ戻しする/ コマ送りする		- 一時停止中に◀または▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ◀または▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。

10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを回すと、10秒前または後ろに移動します。
音量を調節する		 ボタンを押すと音量が大きくなり、  (?) ボタンを押すと小さくなります。
再生を終了する		 または  ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

不要な動画を削除する

1 削除したい動画を表示する

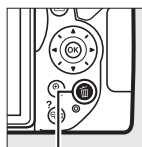
- マークが表示されている画像が動画です。



▶ボタン



2 皿ボタンを押す

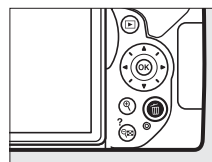


皿ボタン



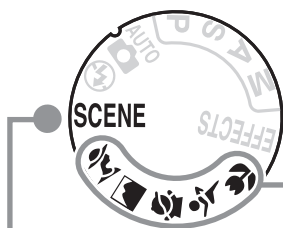
3 もう一度皿ボタンを押す

- 表示中の動画が削除されます。



被写体や状況に合わせて撮影する (シーンモード)

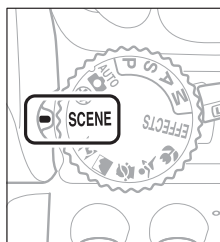
撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。



- 撮影モードダイヤルを回して設定できるシーンモード

- 👤 ポートレート
- 🏞️ 風景
- 👶 こどもスナップ
- 🏆 スポーツ
- 🌸 クローズアップ

- 撮影モードダイヤルをSCENEにしてからコマンドダイヤルを回して設定できるシーンモード



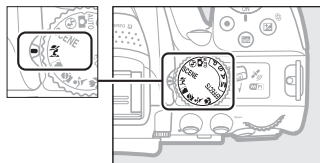
+



- 🌃 夜景ポートレート
- 🌃 夜景
- 🎉 パーティー
- 🌨️ 海・雪
- 🌅 夕焼け
- 🌆 トワイライト
- 🐾 ペット
- 💡 キャンドルライト
- 🌸 桜
- 🍁 紅葉
- 🍴 料理

撮影モードダイヤルを回して設定できるシーンモード

撮影モードダイヤルを回して設定します。



撮影モードダイヤル

(ポートレート)

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- 被写体と背景が離れているときや、望遠レンズを使って撮影したときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。

(風景)

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。

(こどもスナップ)

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や背景も鮮やかに仕上げます。

(スポーツ)

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。

(クローズアップ)

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

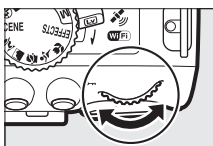
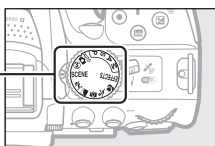
- マイクロレンズを使用すると、より被写体に近づいて撮影することができます。

撮影モードダイヤルをSCENEにしてからコマンドダイヤルを回して設定できるシーンモード

撮影モードダイヤルを**SCENE**に合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。



撮影モードダイヤル



コマンドダイヤル



液晶モニター

(夜景ポートレート)

夕景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

(夜景)

夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然な発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮やかにして夜景の雰囲気感を表現します。

ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

(パーティー)

パーティーなどでの撮影に適しています。パーティー会場の光の雰囲気感も表現します。

(海・雪)

晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影に適しています。

ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

(夕焼け)

夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

(トワイライト)

夜明け前や日没後の風景の撮影に適しています。わずかな自然光での風景をきれいに表現します。

☑️ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

(ペット)

動き回るペットなどの撮影に適しています。

☑️ ご注意

AF補助光ランプは光りません。

(キャンドルライト)

キャンドルライトでの撮影に適しています。

☑️ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(桜)

桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の撮影に適しています。

☑️ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(紅葉)

紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄色を鮮やかに表現します。

☑️ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(料理)

料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに表現します。

☑️ ご注意

 (🔧) ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます。

三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード)

特殊な効果のついた画像を撮影できます。

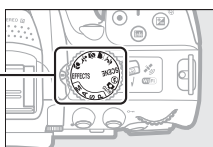
 ナイトビジョン	 シルエット
 カラースケッチ	 ハイキー
 トイカメラ風	 ローキー
 ミニチュア効果	 HDRペインティング
 セレクトカラー	



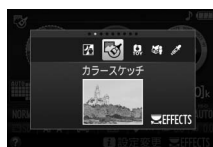
撮影モードダイヤルを**EFFECTS**に合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。



撮影モードダイヤル



コマンドダイヤル



液晶モニター

(ナイトビジョン)

意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗闇での撮影に適しています。

ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使えます。
- オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを **[MF]**（マニュアルフォーカス）に設定してください。
- 撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

(カラスケッチ)

輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ風に表現します。

- 効果はライブビュー表示中に設定できます (□40)。

ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

(トイカメラ風)

色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラで撮影したように表現します。

- 効果はライブビュー表示中に設定できます (□41)。

(ミニチュア効果)

ミニチュア(模型)を接写したように表現します。高いところから見下ろして撮影する場合に適しています。

- 効果はライブビュー表示中に設定できます (□42)。

ご注意

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影に音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

(セレクトカラー)

選んだ色のみを残し、それ以外の色をモノトーン(白黒)で表現します。

- 効果はライブビュー表示中に設定できます (□44)。

ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(シルエット)

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシルエットで表現します。

☑ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(ハイキー)

全体的に明るめの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に明るいトーンで表現します。光に満ちた華やいだ雰囲気になります。

☑ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(ローキー)

全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に暗いトーンで表現します。深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰囲気になります。

☑ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

(HDRペインティング)

絵画のように色彩やディティールが強調された仕上がりになります。

- 1回の撮影で露出が異なる画像を連続2コマ撮影して合成します。

☑ ご注意

- 合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。
 - 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
 - 効果はライブビュー表示時には確認できません。動画撮影時には、撮影モード④として動作します。
 - 内蔵フラッシュは光りません。
 - レリーズモードを[] (低速連続撮影) または [] (高速連続撮影) に設定していても、連続撮影はできません。
-

三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

スペシャルエフェクトモードについて

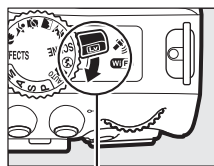
- 撮影モード 、、、、 または  の場合に画質モードを **[RAW]** にして撮影すると、画質モード FINE で画像が記録されます。RAW と JPEG を同時に記録した場合は、JPEG 画像のみが記録されます。
- 撮影モードが  または  のときにリリースモードを **[ L]**（低速連続撮影）または **[ H]**（高速連続撮影）に設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。
- 撮影モードが  または  のときは、ライブビュー時の表示の更新は遅くなります。

■👁️（カラスケッチ）の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで👁️を選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

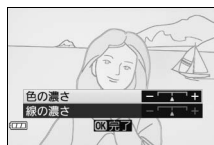
- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

2 OK ボタンを押す

- カラスケッチの設定画面が表示されます。



3 色の濃さを設定する

- マルチセクターの▲または▼を押して「色の濃さ」を選びます。
- ►を押すと濃くなり、◄を押すと薄くなります。



4 線の濃さを設定する

- ▲または▼を押して「線の濃さ」を選びます。
- ►を押すと濃くなり、◄を押すと薄くなります。
- 「線の濃さ」を濃くすると、画像全体の色も濃くなります。



5 決定する

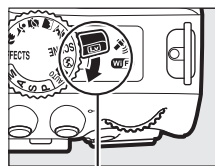
- OK ボタンを押して決定します。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ (トイカメラ風) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで  を選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

2 ボタンを押す

- トイカメラ風の設定画面が表示されます。



3 色の濃さを設定する

- マルチセクターの ▲ または ▼ を押して [色の濃さ] を選びます。
- ► を押すと濃くなり、◄ を押すと薄くなります。



4 周辺減光を設定する

- マルチセクターの ▲ または ▼ を押して [周辺減光] を選びます。
- ► を押すと減光効果が強くなり、◄ を押すと減光効果が弱くなります。



5 決定する

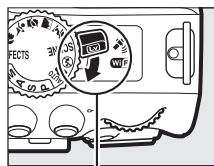
-  ボタンを押して決定します。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ (ミニチュア効果) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで を選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

2 フォกัสポイントを被写体に重ねる

- マルチセクターの ▲▼◀▶ ボタンを押して、ぼかさないではっきりと見せたい部分にフォーカスポイントを移動します。
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- Q ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントを細部まで確認できます。Q (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。



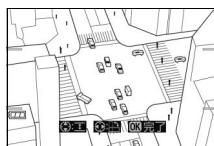
3 OK ボタンを押す

- ミニチュア効果の設定画面が表示されます。



4 効果をかける方向と幅を設定する

- ◀または▶を押すと、効果をかける方向を縦と横から選べます。
- ▲または▼を押すと、効果をかける幅を設定できます。



5 決定する

- OK ボタンを押して決定します。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも適用されます。

ミニチュア効果での動画撮影について

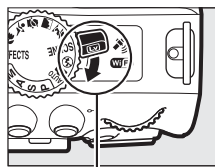
動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、撮影メニュー **【動画の設定】** の **【画像サイズ/フレームレート】** が 1920×1080 、30p の場合（□60）、約3分の動画ファイルを作成するためには、約45分の撮影時間が必要です。

■ (セレクトカラー) の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードでを選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

- 液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

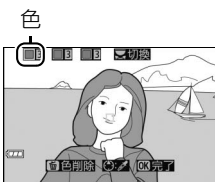
2 ボタンを押す

- セレクトカラーの設定画面が表示されます。



3 残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
-  ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、残したい色を細部まで確認できます。 (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- マルチセクターの▲を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン（白黒）で表示されます。



4 抽出する色の感度を設定する

- ▲または▼を押して、抽出する色の感度を[1]～[7]から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。

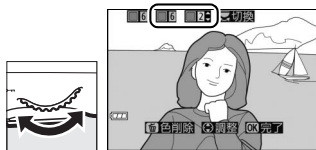


色の感度



5 抽出する色を追加する

- コマンドダイヤルを回して別の色の枠を選び、手順3～4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。
- 最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで $\mathbb{A}$ ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。
- 抽出した全ての色を削除したい場合は、 $\mathbb{A}$ ボタンを押し続けます。確認画面で「はい」を選んで OK ボタンを押すと、全ての色をリセットします。



6 決定する

- OK ボタンを押して決定します。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも適用されます。

セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

P、S、A、Mモードで撮影する

撮影モードダイヤルを回して撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**を選ぶと、撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



P プログラムオート (47)	シャッターチャンス逃したくないスナップ撮影などに使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S シャッター優先オート (47)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A 絞り優先オート (47)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
M マニュアル (47)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露出 (バルブ、タイム) 撮影も、このモードで行います。

内蔵フラッシュを使った撮影について

(24) ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます。

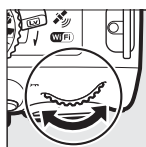
P：プログラムオート

シャッターチャンスを見逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。

S：シャッター優先オート

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適しています。シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。

- コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



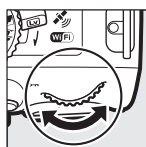
コマンドダイヤル



A：絞り優先オート

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい場合に適しています。絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。

- コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）ます。



コマンドダイヤル

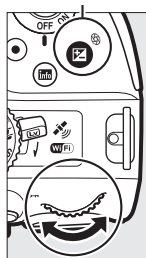


M：マニュアル

露出インジケーター（ 48）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。

- **シャッタースピードの設定**：コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- **絞り値の設定**：（）ボタンを押しながらコマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き（絞り値が小さくなり）、右に回すと絞りが絞り込まれ（絞り値が大きくなり）ます。

（）ボタン

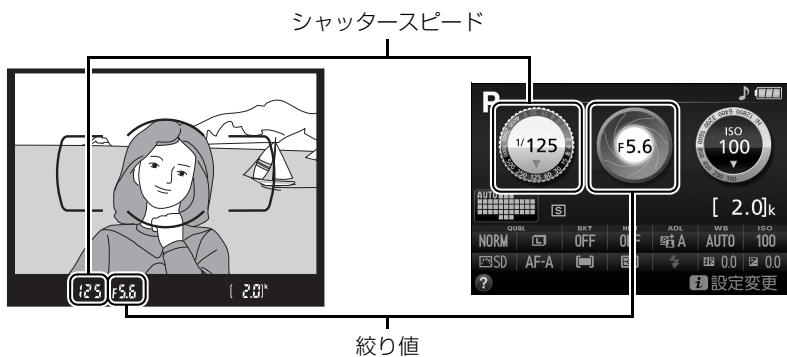


コマンドダイヤル

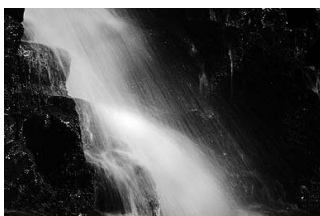


シャッタースピードと絞り値について

シャッタースピードと絞り値は、ファインダー内とインフォ画面に表示されます。



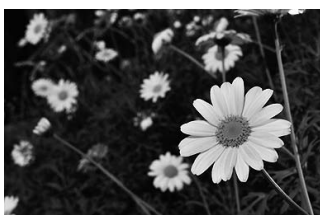
動きの速い被写体を撮影したいときは、
速いシャッタースピードに設定する
(シャッタースピード：1/1600秒)



被写体の動きを強調したいときは、
遅いシャッタースピードに設定する
(シャッタースピード：1秒)



メインとなる被写体を浮き立たせたいときは、
絞りを開く
(絞り値：F5.6)



近くから遠くまでピントの合った写真を
撮影するには、絞りを絞りこむ
(絞り値：F22)

露出インジケータの見方

適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー

画像の明るさを調整する（露出補正）

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います（撮影モードP、S、A、Mのみ）。



－1段補正



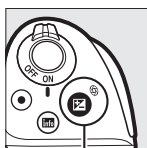
露出補正なし



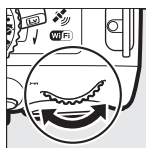
＋1段補正

露出補正値を変える

- **Fn (Fn) ボタン**を押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内とインフォ画面の露出補正値が変わります。
- 被写体を明るくしたいときは＋側に、暗くしたいときは－側に補正します。



Fn (Fn) ボタン



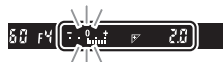
コマンドダイヤル



インフォ画面



－0.3段補正



＋2段補正

露出補正の設定について

露出補正は、インフォ画面でも設定できます（p.8）。



露出補正の解除について

露出補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。

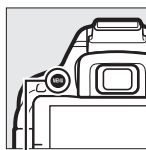
位置情報機能を使う

位置情報を記録しながら撮影する

カメラの位置情報機能を使って、現在の位置情報（緯度、経度、標高）と時刻（UTC（協定世界時））を取得します。取得した位置情報は、撮影する画像に記録できます。位置情報を取得するときは、空のひらけた屋外でカメラを操作してください。

1 【位置情報】を選ぶ

- MENU ボタンを押して、セットアップメニューの【位置情報】を選んでマルチセクターの▶を押します。

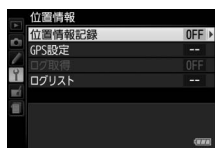


MENU ボタン



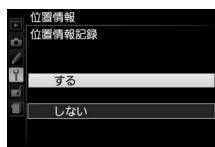
2 【位置情報記録】を選ぶ

- 【位置情報記録】を選んで▶を押します。



3 【する】を選ぶ

- 【する】を選んでOK ボタンを押すと、位置情報機能が有効になり、衛星から電波を受信して測位が始まります。



位置情報機能をお使いの前に

- 「位置情報機能について」(□xiv) をお読みください。
- セットアップメニューの【地域と日時】(□61) で日時が正しく設定されていることを確認してください。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。

4 インフォ画面で衛星受信状態を確認する

-  ボタンを押して、インフォ画面の衛星受信状態マークを確認します。

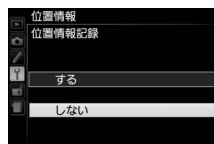


5 撮影する

- 衛星から受信した位置情報が画像に記録されます。
- 画像に記録した位置情報は、再生画面の情報表示またはViewNX 2 (□67) で確認できます。

6 測位を終了する

- セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] を [しない] にすると、位置情報機能が無効になり、測位を終了します。



衛星受信状態マークについて

- 衛星受信状態マークは、[位置情報] 画面でも確認できます。
- 衛星受信状態マークの見方は次の通りです。
 -  (点灯)：衛星から測位した緯度、経度、標高の情報が画像に記録されます。
 -  (点灯)：衛星から測位した緯度、経度の情報が画像に記録されます。標高は記録されません。
 -  (点滅)：測位できていません。画像に位置情報は記録されません。



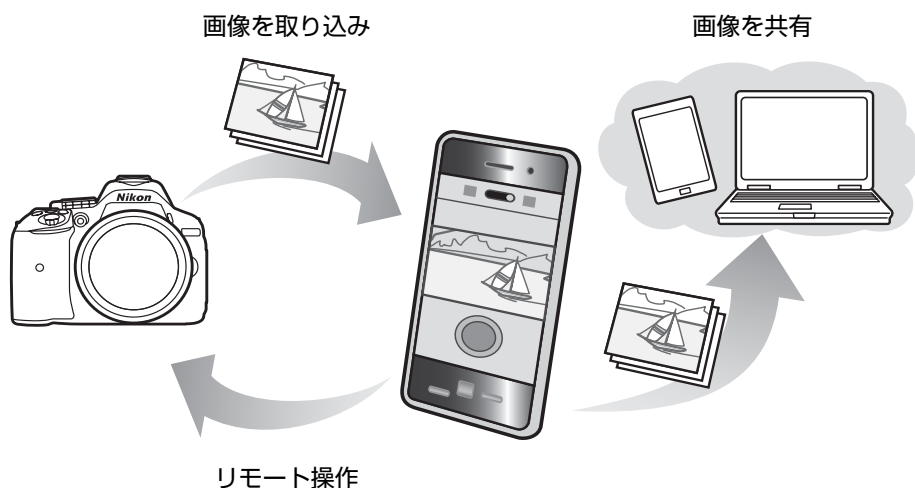
位置情報機能についてのご注意

- 初めて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときなど、測位情報を取得するまで時間がかかることがあります。
- 航法衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。
- 次のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 入れ物の中（金属製のカバンなど）
- 携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものや、磁気を発生するものがある場合は、測位できないことがあります。
- 航法衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足元にご注意ください。
- 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を記録します。
- 画像ファイルに記録されている位置情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- カメラの電源をOFFにしても、位置情報機能は無効になりません。

Wi-Fiを使う

Wi-Fiを使ってできること

このカメラと専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしたスマートデバイスを接続すると、スマートデバイスにカメラの撮影画面を表示し、カメラをリモートで操作できます。また、リモートで撮影した画像やカメラのSDカードに保存されている画像をスマートデバイスに取り込んだり、スマートデバイスに取り込んだ画像をインターネット経由で共有することができます。



詳しい操作方法については、Wireless Mobile Utilityの使用説明書（㊦54）をご覧ください。

カメラとスマートデバイスを接続する

Wi-Fi（無線LAN）を使う前に、Android OS またはiOS のスマートデバイスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてから、スマートデバイスとカメラを接続してください。スマートデバイスとカメラを接続する方法は、お使いのスマートデバイスの種類によって異なります。

Android OS	WPS プッシュボタン方式 ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合（スマートデバイスの【Wi-Fi設定】に【WPSボタン接続】がある場合）、簡単な操作でカメラとスマートデバイスを接続できます。	☞55
	WPS PINコード方式 ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合、スマートデバイスのPINコードをカメラに入力することで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	☞56
	SSIDの表示 ：スマートデバイスがWPS接続に対応していなくても、カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	☞57
iOS	SSIDの表示 ：カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	☞57

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

最初にスマートデバイスでGoogle PlayサービスやApp Storeなどに接続して「Wireless Mobile Utility」を検索し、スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書（PDF形式）をダウンロードしてご覧ください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

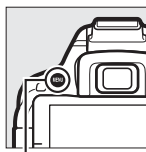
WPS について

「WPS（Wi-Fi Protected Setup）」とは、無線LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。スマートデバイスによって、設定方法や待ち受け時間が異なります。【WPSプッシュボタン接続】の詳細については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

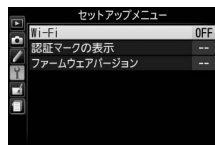
WPS プッシュボタン接続でスマートデバイスと接続する（Android OSのみ）

1 Wi-Fiの〔通信機能〕を〔有効〕にする

- MENUボタンを押して、セットアップメニューの〔Wi-Fi〕を選んでマルチセレクトの▶を押します。



MENUボタン



- 〔通信機能〕を選んで▶を押し、〔有効〕を選んでⓀボタンを押します（通信機能が有効になるまで、数秒間かかります）。



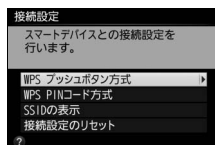
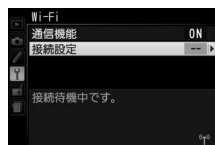
2 カメラ側とスマートデバイス側で同時にWPSボタン接続操作をする

- カメラ側：

- 〔接続設定〕を選んで▶を押します。



- 〔WPS プッシュボタン方式〕を選んで▶を押すと、カメラが約2分間接続待機状態になります。
- 接続待機状態を延長するには、Ⓚボタンを押してください。



- スマートデバイス側：

- スマートデバイスの〔Wi-Fi設定〕から〔WPSボタン接続〕を選びます。

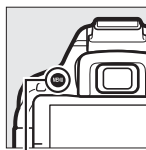
3 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

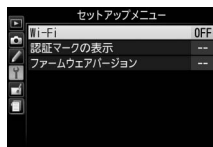
スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して接続する（Android OSのみ）

1 Wi-Fiの【通信機能】を【有効】にする

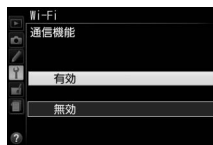
- MENUボタンを押して、セットアップメニューの【Wi-Fi】を選んでマルチセクターの▶を押します。



MENUボタン



- 【通信機能】を選んで▶を押し、【有効】を選んでⓧボタンを押します（通信機能が有効になるまで、数秒間かかります）。

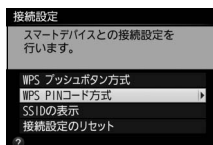
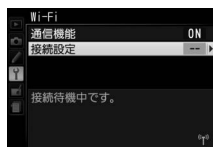


2 【接続設定】で【WPS PINコード方式】を選ぶ

- 【接続設定】を選んで▶を押します。



- 【WPS PINコード方式】を選んで▶を押します。



3 スマートデバイスのPINコードを入力する

- ◀または▶を押して桁を選び、▲または▼を押して数値を設定し、ⓧボタンを押します。

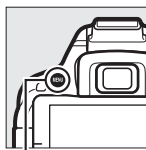
4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

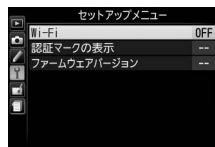
カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する (Android OS/iOS)

1 Wi-Fiの〔通信機能〕を〔有効〕にする

- MENUボタンを押して、セットアップメニューの〔Wi-Fi〕を選んでマルチセクターの▶を押します。



MENUボタン

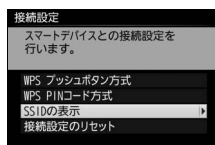
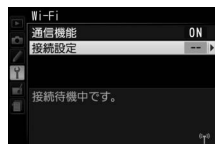


- 〔通信機能〕を選んで▶を押し、〔有効〕を選んでⓄボタンを押します（通信機能が有効になるまで、数秒間かかります）。



2 カメラのSSIDを表示する

- 〔接続設定〕を選んで▶を押します。
- 〔SSIDの表示〕を選んで▶を押します。



3 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

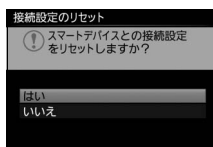
- スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

■ Wi-Fi接続設定をリセットするには

[Wi-Fi] の [接続設定] で [接続設定のリセット] を選んで▶を押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選んでⓀボタンを押すと、接続先などの接続設定が、工場出荷時の設定にリセットされます。



Wi-Fi通信表示について

Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にすると、インフォ画面で📶 (Wi-Fi通信表示) が点滅します。スマートデバイスとカメラの接続が完了し、Wireless Mobile Utilityで通信している間は、📶が点灯します。



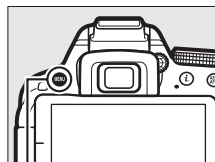
Wi-Fi接続についてのご注意

- Wi-Fi (無線LAN) をお使いの前に、「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(□xv) をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、[Wi-Fi] の [通信機能] を [無効] にしてください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。USBケーブルまたはHDMIケーブルを接続しているときも使えません。
- スマートデバイスからWireless Mobile Utilityでカメラと通信している間は、半押しタイマーはオフになりません (通信を行わずに約5分経過すると、半押しタイマーがオフになります)。
- Wi-Fi接続中は、Eye-Fiカードでデータを送信できません。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。
- 次の場合に、Wi-Fiの通信機能が無効になります。
 - セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] で [無効] を選んだとき
 - カメラの電源をOFFにしたとき
 - 動画撮影を開始したとき

メニューを使う

再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー画面を使います。

MENU ボタンを押すと、液晶モニターに次のようなメニュー画面（例：セットアップメニュー）を表示します。



MENU ボタン

メニュー切り換えタブ

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示されます。

再生メニュー	セットアップメニュー
撮影メニュー	画像編集メニュー
カスタムメニュー	最近設定した項目/ マイメニュー※

※どちらかに設定できます。初期設定は「最近設定した項目」です。



各項目の現在の設定をアイコンで表示します

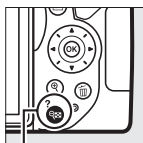
メニュー項目

タブで選んだメニュー内にある設定項目を一覧表示します

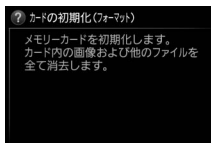


ヘルプがある場合に (?) ボタンを押すと、その項目のヘルプ（説明）を表示します。

- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの▼を押して、次のページを表示してください。
- もう一度 (?) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



(?) ボタン



メニュー項目の一覧

再生メニュー：再生で使える便利な機能

削除	スライドショー
再生フォルダー設定	プリント指定（DPOF）
再生画面設定	レーティング
撮影直後の画像確認	スマートデバイスへの送信指定
縦位置自動回転	

撮影メニュー：撮影で使える便利な機能

撮影メニューのリセット	アクティブD-ライティング
記録フォルダー設定	HDR（ハイダイナミックレンジ）
画質モード	長秒時ノイズ低減
画像サイズ	高感度ノイズ低減
RAW記録	ISO感度設定
ホワイトバランス	レリーズモード
ピクチャーコントロール	多重露出
カスタムピクチャーコントロール	インターバルタイマー撮影
自動ゆがみ補正	動画の設定
色空間	

カスタムメニュー：撮影に関するさらに詳細な設定

カスタムメニューのリセット	d 撮影・記録・表示
a オートフォーカス	d1：電子音設定
a1：AF-Cモード時の優先	d2：ファインダー内格子線表示
a2：AF点数切り換え	d3：ISO感度表示
a3：内蔵AF補助光の照射設定	d4：連番モード
a4：フォーカスエイドインジケータ	d5：露出デिलーモード
b 露出	d6：デート写し込み設定
b1：露出設定ステップ幅	e フラッシュ・BKT撮影
c AEロック・タイマー	e1：内蔵フラッシュ発光
c1：半押しAEロック	e2：オートブラケティングのセット
c2：パワーオフ時間	f 操作
c3：セルフタイマー	f1：Fnボタンの機能
c4：リモコン待機時間（ML-L3）	f2：AE/AFロックボタンの機能
	f3：コマンドダイヤル回転方向の変更
	f4：カードなし時レリーズ
	f5：インジケータの+/-方向

■🔧 セットアップメニュー：カメラを使いやすくする基本設定

カードの初期化（フォーマット）	縦横位置情報の記録
液晶モニターの明るさ	画像コメント
インフォ画面デザイン	位置情報
インフォ画面の自動表示	ビデオ出力
イメージセンサークリーニング	HDMI
クリーニングミラーアップ	リモート操作
イメージダストオフデータ取得	Wi-Fi
フリッカー低減	Eye-Fi送信機能※
地域と日時	認証マークの表示
言語（Language）	ファームウェアバージョン

※ この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

■🖼️ 画像編集メニュー：撮影した画像に行う編集機能

D-ライティング	傾き補正
赤目補正	ゆがみ補正
トリミング	魚眼効果
モノトーン	塗り絵
フィルター効果	カラースケッチ
カラーカスタマイズ	アオリ効果
画像合成	ミニチュア効果
RAW現像	セレクトカラー
リサイズ	動画編集
簡単レタッチ	編集前後の画像表示※

※ 編集前または編集後の画像を1コマ表示して **i** ボタンを押して、[画像編集] を選んだときのみ表示されます。

■📄 最近設定した項目/📁 マイメニュー

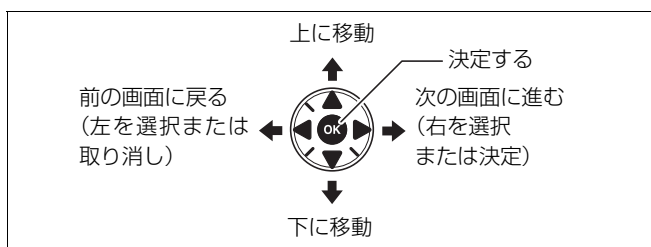
[最近設定した項目] を選ぶと、最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的に表示されます。[マイメニュー] を選ぶと、よく使うメニュー項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。

🔧 メニューについて

各メニュー項目の機能については、カメラのヘルプ（📄59）をお使いください。

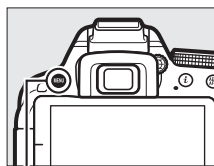
■メニュー項目の設定方法

メニューの操作には、マルチセクターと $\odot$ ボタンを使います。



1 メニュー画面を表示する

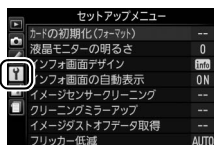
- MENU ボタンを押します。



MENU ボタン

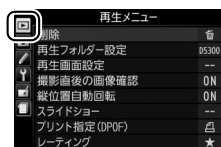
2 メニューのタブを選ぶ

- マルチセクターの $\blacktriangleleft$ を押して、タブのアイコンを黄色く表示します。



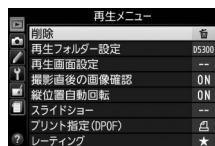
3 メニューを切り換える

- $\blacktriangle$ または $\blacktriangledown$ を押して、メニューのタブを切り換えます。



4 選んだメニューに入る

- ►を押して、選んだメニューに入ります。



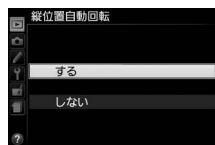
5 メニュー項目を選ぶ

- ▲または▼で項目を選びます。



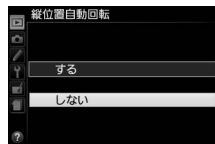
6 設定内容を表示する

- ►を押して設定内容を表示します。



7 設定内容を選ぶ

- ▲または▼で設定内容を選びます。



8 決定する

- OKボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル（中止）するには、MENU ボタンを押してください。



- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- OKボタンの代わりに►を押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの初期化などの重要な設定項目については、OKボタンしか使えないことがあります。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し（□22）してください。

ViewNX 2

ViewNX 2をインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、静止画や動画の表示、編集ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が□65の動作環境に合っているか確認してください。



1 パソコンを起動し、ViewNX 2 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、インストーラーを起動する

- 右の画面で言語を選びます。



2 インストールを開始する

- 画面の指示に従ってインストールしてください。



3 インストールを終了する

Windows



[はい] をクリック

Mac OS



[OK] をクリック

4 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

ViewNX 2の動作環境について

	Windows	Mac OS
プロセッサ (CPU)	- 静止画：Intel Celeron/Pentium4/Core シリーズ1.6GHz以上 - 動画： - 再生時：Pentium D 3.0GHz以上 - 編集時：Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でフレームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5以上を推奨	- 静止画：Intel Coreシリーズ/Xeonシリーズ - 動画： - 再生時：Core Duo 2GHz以上 - 編集時：Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でフレームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5以上を推奨
OS	Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP ・全てプリインストールされているモデルに対応 ・64ビット版Windows XP上では動作しません。	- OS X 10.8、10.7 - Mac OS X 10.6
実装メモリー (RAM)	32ビット版 Windows 8、Windows 7、Windows Vista：1 GB 以上（2 GB 以上推奨） 64ビット版 Windows 8、Windows 7、Windows Vista：2 GB 以上（4 GB 以上推奨） - Windows XP：512 MB以上（2 GB以上推奨）	- OS X 10.8、10.7：2 GB 以上（4 GB 以上推奨） - Mac OS X 10.6：1 GB 以上（4 GB 以上推奨）
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1 GB以上（3 GB以上推奨）	
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル以上推奨）、表示色数：24ビットカラー以上	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル以上推奨）、表示色数：1670万色以上

※ 対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報（□xii）でご確認ください。

必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください

- お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、RAW 画像をカメラからパソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず最新バージョンのViewNX 2をお使いください。
- 最新版のViewNX 2は、当社ホームページ（□xii）からダウンロードしてインストールすることもできます。

ニコンホームページへのアクセスについて（Windowsのみ）

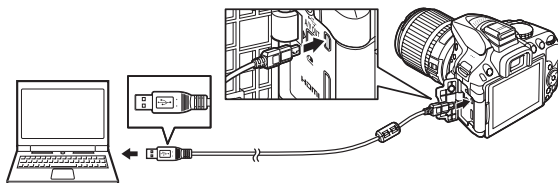
ViewNX 2をインストールした後、Windowsの〔スタート〕メニューから〔すべてのプログラム〕→〔Link to Nikon〕の順にクリックすると、当社のホームページにアクセスできます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 パソコンに接続する

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

3 画像をパソコンに取り込む

- 「転送開始」をクリックすると、記録されている画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。



「転送開始」

4 接続を解除する

- カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

Windows 7をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 「画像とビデオのインポート」で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ

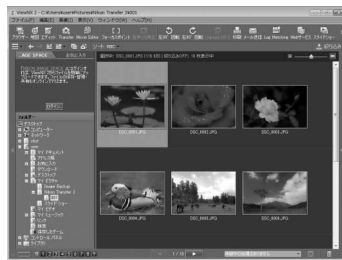
- 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックします。

- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする



画像を見る

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。



■■ 静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで「**エディット**」をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。



■■ 動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで「**Movie Editor**」をクリックします。

このカメラで撮影した動画の不要部分を削除するなどの編集ができます。



■■ 画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで「**印刷**」をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。



■■ 取得した位置情報をパソコンで地図上に表示する

ViewNX 2のツールバーで「**地図**」をクリックします。画像に記録した位置情報を地図上に表示したり、カメラで取得したログを使って地図上に移動ルートを表示できます。

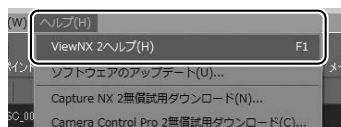


🔧 ViewNX 2を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックする
- Mac OS : Dockの [ViewNX 2] アイコンをクリックする

🔧 ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。



資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-SレンズまたはAF-Iレンズが必要です。AF-SまたはAF-Iは、レンズ名の次の部分に明示されています。

AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR

—— レンズ名のこの部分がAF-SまたはAF-Iであることをご確認ください。

このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファインダー撮影時の制限は次の通りです。

レンズ	モード	フォーカスモード			撮影モード		測光モード		
		AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	MF (マニュアル フォーカス)	M	M以外	マルチパターン 測光		中央部重点 測光/ スポット測光
							3D-RGB	RGB	
AF-Iレンズ、AF-Sレンズ		○	○	○	○	○	○	×	○※1
Gタイプレンズ、DタイプのAFレンズ		×	○	○	○	○	○	×	○※1
PC-E NIKKORシリーズ※2,3		×	○※4	○	○	○	○	×	○※1
PCマイクロ 85mm F2.8D※5		×	○※4	○	○	×	○	×	○※1
AF-S/AF-Iテレコンバーター※6		○※7	○※7	○	○	○	○	×	○※1
Gタイプ、Eタイプ、Dタイプ以外のAF レンズ (F3AF用を除く)		×	○※8	○	○	○	×	○	○※1
AI-Pニッコール		×	○※9	○	○	○	×	○	○※1

※1 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能。

※2 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDの装着時にアオリ操作をすると、レンズとカメラボディが接触してキズが付いたり、ケガをする可能性があります。充分ご注意ください。

※3 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。

※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。

※5 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。

※6 AF-Sレンズ、AF-Iレンズ専用。

※7 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。

※8 AF80–200mm f/2.8S、AF35–70mm f/2.8S、AF28–85mm f/3.5–4.5S (New)、AF28–85mm f/3.5–4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とオートフォーカスのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、マニュアルフォーカスによりファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。

※9 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

- 高感度で動画撮影を行う場合、オートフォーカスの作動中にノイズ（すじ）が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。

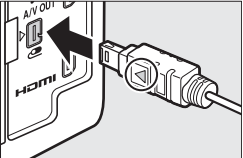
✓ 使用できるレンズについてのご注意

AF-SやAF-I以外のオートフォーカス（AF）レンズを装着しても、このカメラではオートフォーカス撮影できません。また、IXニッコールレンズは装着できません。

使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。詳しくは最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください。

電源	● Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (□9) ニコンデジタルカメラD5300用のバッテリーです。 - EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。 ● バッテリーチャージャー MH-24*1 (□9) Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14用のチャージャーです。 ● パワーコネクター EP-5A、ACアダプター EH-5b*2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクターEP-5Aが必要です。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 ※1 家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。 ※2 日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。
フィルター	● フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。 ● カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター（Polar）は使用できません。円偏光フィルター（C-PL、C-PL II）をお使いください。 ● 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。 ● 露出倍数のかかるフィルター（Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL（円偏光フィルター）、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12）を使用する場合、[測光モード]を[☉]（中央部重点測光）にして撮影することをおすすめします。[☉]（マルチパターン測光）では、十分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。 ● 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスイッドが行えないことがありますのでご注意ください。
USB/オーディオビデオ出力端子	● USBケーブル UC-E17、UC-E6 (□66) USBケーブルUC-E17は、単体では販売しておりません。UC-E6をお買い求めください。 ● オーディオビデオケーブルEG-CP16
ボディーキャップ	● ボディーキャップBF-1B、BF-1A レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

ニコンデジタル カメラ専用 ソフトウェア	● Capture NX 2 画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。 ● Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハードディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。 ● ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター 2 (Nikon Message Center 2) が自動的に更新情報をチェックします。 ● 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報 (□xii) でご確認ください。
ファインダー用 アクセサリ	● 接眼補助レンズDK-20C 遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えることができます。-5、-4、-3、-2、0、+0.5、+1、+2、+3m⁻¹の9種類が用意されていますが、いずれもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置 (-1m⁻¹) の場合の値です。視度補正は個人差が大きいですので店頭で実際に取り付けてお選びください。このカメラには視度調節機能が付いています (-1.7~+1.0m⁻¹) ので、この範囲外の視度補正が必要なときにお使いください。なお、接眼補助レンズを使用している場合は、接眼目当ては使用できません。 ● マグニファイヤー DG-2 ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合わせが必要なときに使用します。 ● アイピースアダプター DK-22※1 上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。 ● 角窓用変倍アングルファインダー DR-6※1 カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向 (水平方向に向けたカメラの真上など) からファインダー内の画像を確認できます。
アクセサリ ターミナル	アクセサリターミナルに次のアクセサリを接続することができます。 ● ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10※2 (□71) ● ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 (□71) ● リモートコードMC-DC2 ● GPSユニットGP-1/GP-1A 図のようにアクセサリターミナルの▷マークとコネクタの◁マークを合わせて、コネクタをアクセサリターミナルに接続します。 使用しないときは、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミ等が入ると、誤作動の原因となることがあります。 

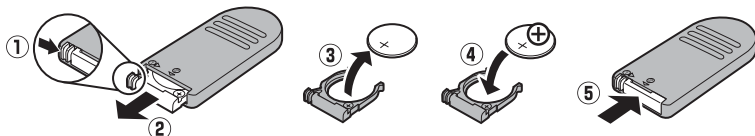
※1 装着時には、カメラの液晶モニターを回転できません。

※2 ワイヤレスリモートコントローラーは、ステレオマイクロホンME-1と同時に装着できません。無理に取り付けようとすると、カメラやアクセサリの破損や故障の原因となります。

リモコン/
ワイヤレス
リモートコン
トローラー

• リモコンML-L3 (☐4)

リモコン用電池 (CR2025型3Vリチウム電池) の交換方法

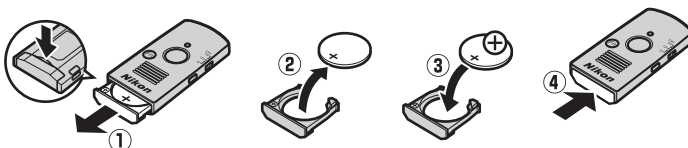


電池室のノブを右側に押しながら (①)、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して (②) ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください (④)。

• ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10※/WR-T10

ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10をカメラのアクセサリターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコントローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。

WR-T10用電池 (CR2032型3Vリチウム電池) の交換方法



電池室のノブの隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して (①) ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください (③)。

• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1

WR-1 は2 台以上を組み合わせで送信機と受信機として使います。受信機に設定したWR-1をカメラのアクセサリターミナルに取り付けると、送信機に設定したWR-1からの操作で、無線での遠隔撮影を行えます。

外部マイク

• ステレオマイクロホンME-1※

※ ワイヤレスリモートコントローラー は、ステレオマイクロホンME-1と同時に装着できません。無理に取り付けようとすると、カメラやアクセサリーの破損や故障の原因となります。

🔧 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

推奨SDカード

次のSDカードの動作を確認しています。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk製	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
東芝製	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic製	2 GB※1	4 GB、6 GB、8 GB、12 GB、16 GB、24 GB、32 GB	48 GB、64 GB
LEXAR MEDIA社製	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	—
プラチナⅡシリーズ	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
プロフェッショナルシリーズ	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
フルHDビデオカードシリーズ	—	4 GB、8 GB、16 GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。



- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブローアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ・ミラー・ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブローアーで払います。スプレー缶タイプのブローアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブローアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、強い撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については活用ガイドをご覧ください。

● シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いので、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーや AC アダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態では、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

● モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

● 屋外では日差しに加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。

- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合はズームリングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

バッテリーの取り扱いについて

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源を OFF にしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーEN-EL14aをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。



警告表示について

液晶モニターに①、またはファインダー内に②が点滅している場合に $\text{Q} \otimes (?)$ ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
レンズの絞りリングを最小絞り（一番大きい数字）にしてください。	FE E (点滅)	レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい値)にしてください。
レンズ未装着	$\text{F- -}/\text{Q}$ (点滅)	• レンズを装着してください。 • 非CPUレンズを装着しているときは、撮影モードMで撮影してください。
撮影できません。 バッテリーを交換してください。	 (点滅)	残量のあるバッテリーに交換してください。
このバッテリーは使用できません。 専用バッテリーに交換してください。	 (点滅)	専用バッテリーに交換してください。
起動エラーが発生しました。復旧には電源スイッチをOFFにして再度ONにしてください。	 (点滅)	電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。
バッテリーが残り少なくなりました。 ただちに作業を終了し、電源スイッチをOFFにしてください。	—	クリーニングを中止し、電源をOFFにしてください。
日時未設定	—	日時を設定してください。
メモリーカード未挿入	$(-E-)/\text{Q}$ (点滅)	SDカードを正しく入れてください。
メモリーカードが書き込み禁止になっています。	Ld (点滅)	SDカードのロックを解除してください。

こんなとき		対応方法
液晶モニター	ファインダー内表示	
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。 カードを交換してください。	 (点滅)	• このカメラで使用できる SD カードであるかどうかを確認してください。 • SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 • 新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。 • 新しいSDカードに交換してください。
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。 フォーマットしてください。	 (点滅)	• SDカードをカメラで初期化してください。 • 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。
メモリーカード空き容量不足	 (点滅)	• SDカードに記録されている画像を削除して、SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 • 新しいSDカードに交換してください。
—	 (点滅)	構図を変えるか、マニュアル（手動）でピントを合わせてください。
被写体が明るすぎます	 (点滅)	• ISO感度を低くしてください。 • シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 • 絞りを絞込んで（より大きい数値にして）ください。 • 市販のND（光量調節用）フィルターをお使いください。 • の場合は、撮影モードを切り換えてください。
被写体が暗すぎます	 (点滅)	• ISO感度を高くしてください。 • フラッシュをお使いください。 • シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 • 絞りを開いて（より小さい数値にして）ください。
Sモード時Bulb制御不可	 (点滅)	• シャッタースピードを変えてください。
Sモード時Time制御不可	 (点滅)	• 撮影モードMで撮影してください。
—	 (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮影に必要な光量が不足している可能性があります。撮影距離、絞り、フラッシュ調光範囲、ISO感度などをご確認ください。
—	 (点滅)	• フラッシュをお使いください。 • 撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などをご確認ください。 • レンズの焦点距離が18mmより広角になっています。焦点距離を18mm以上にしてください。

こんなとき		対処方法
液晶モニター	ファインダー 内表示	
何らかの異常を検出しました。 復旧にはシャッターボタンをもう一度押してください。	Err (点滅)	もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。
起動エラーが発生しました。 サービス機関にお問い合わせください。	Err (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
測光機能エラー	Err (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
ライブビューを開始できません。 カメラ内部の温度が下がるまでしばらくお待ちください。	—	カメラ内部の温度が下がるまで、ライブビュー撮影または動画撮影を一時休止してください。
撮影画像がありません。	—	• 画像が記録されているSDカードを入れてください。 • 再生メニューの[再生フォルダー設定]を[記録中のフォルダー]にした後、SDカードを交換してから、撮影を行わずに画像を再生しました。[再生フォルダー設定]を[全てのフォルダー]にすると、SDカード内の画像を再生できます。
このファイルは表示できません。	—	• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 • 画像ファイルに異常があるため再生できません。
このファイルは選択できません。	—	このカメラで撮影または編集した画像しか画像編集できません。
複数の接続先を検出したため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直してください。	—	スマートデバイスからの通信信号を受信中、複数の接続先を検出したため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直してください。
エラーが発生しました。	—	セットアップメニュー [Wi-Fi] の[通信機能]を[無効]にしてから、もう一度[有効]にしてください。
カメラの温度が下がるまで通信機能は使えません。	—	カメラの電源をOFFにして、カメラ内部の温度が下がるまでしばらく待ってから接続をやり直してください。

主な仕様

■ニコンデジタルカメラD5300

型式	
型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
レンズマウント	ニコンFマウント（AF接点付）
実撮影画角	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズのFXフォーマットでの画角に相当
有効画素数	
有効画素数	2416万画素
撮像素子	
方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー
総画素数	2478万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、 イメージダストオフデータ取得（別売Capture NX 2必要）
記録形式	
記録画素数	• 6000×4000ピクセル（サイズL） • 4496×3000ピクセル（サイズM） • 2992×2000ピクセル（サイズS）
画質モード	• RAW 12ビット/14ビット（圧縮） • JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8）、BASIC（1/16） • RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャー コントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、 いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード（SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応）
対応規格	DCF 2.0（Design rule for Camera File system）、 DPOF（Digital Print Order Format）、 Exif 2.3（Exchangeable image file format for digital still cameras）、 PictBridge
ファインダー	
ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式ファインダー
視野率	上下左右とも約95%（対実画面）
倍率	約0.82倍（50mm f/1.4レンズ使用、 ∞ 、 -1.0 m^{-1} のとき）
アイポイント	接眼レンズ面中央から18mm（ -1.0 m^{-1} のとき）
視度調節範囲	$-1.7\sim+1.0\text{ m}^{-1}$
ファインダー スクリーン	B型クリアマットスクリーン VII
ミラー	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式

レンズ	
交換レンズ	・オートフォーカス可能レンズ：AF-SおよびAF-Iレンズ ・オートフォーカス不可レンズ：AF-SおよびAF-I以外のGまたはDタイプレンズ、GまたはDタイプ以外のAFレンズ（IX用レンズ、F3AF用レンズは使用不可）、Pタイプレンズ、非CPUレンズ（撮影モードM（マニュアル）で使用可能、ただしカメラで測光は不可） ※ 開放F値がF5.6以上明るいレンズでフォーカスエイド可能
シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000～30秒（1/3ステップ、1/2ステップに変更可能）、Bulb、Time
フラッシュ同調シャッタースピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調
レリーズ機能	
レリーズモード	・[S]：1コマ撮影、[L]：低速連続撮影、[H]：高速連続撮影、[Q]：静音撮影、[T]：セルフタイマー、[2s]：2秒リモコン（ML-L3）、[i]：瞬時リモコン（ML-L3） ・インターバルタイマー撮影可能
連続撮影速度	・[L]：最高約3コマ/秒※ ・[H]：最高約5コマ/秒（JPEG画像撮影時または、12ビットのRAW画像撮影時）または最高約4コマ/秒（14ビットのRAW画像撮影時）※ ※ フォーカスモードがAF-Cで、カスタムメニュー a1 [AF-Cモード時の優先] が [レリーズ] 、撮影モードが S （シャッター優先オート）または M （マニュアル）、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その他が初期設定時
セルフタイマー	作動時間：2、5、10、20秒、撮影コマ数：1～9コマ
露出制御	
測光方式	2016分割RGBセンサーによるTTL開放測光方式
測光モード	・マルチパターン測光：3D-RGBマルチパターン測光Ⅱ（G、E、またはDタイプレンズ使用時）、RGBマルチパターン測光Ⅱ（その他のCPUレンズ使用時） ・中央部重点測光：φ8 mm相当を測光（中央部重点度約75%） ・スポット測光：φ3.5 mm相当（全画面の約2.5%）を測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動
測光範囲	・マルチパターン測光、中央部重点測光：0～20 EV ・スポット測光：2～20 EV（ISO 100、f/1.4レンズ使用時、常温20℃）
露出計連動	CPU連動方式
撮影モード	AUTO ：オート、 [L] ：発光禁止オート、 P ：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、 S ：シャッター優先オート、 A ：絞り優先オート、 M ：マニュアル ・シーンモード：[S]：ポートレート、[L]：風景、[C]：こどもスナップ、[M]：スポーツ、[N]：クローズアップ、[P]：夜景ポートレート、[N]：夜景、[P]：パーティー、[S]：海・雪、[F]：夕焼け、[L]：トワイライト、[P]：ペット、[L]：キャンドルライト、[S]：桜、[M]：紅葉、[F]：料理 ・スペシャルエフェクトモード：[N]：ナイトビジョン、[S]：カラースケッチ、[M]：トイカメラ風、[P]：ミニチュア効果、[M]：セレクトカラー、[L]：シルエット、[M]：ハイキー、[L]：ローキー、[S]：HDRペインティング

露出制御	
露出補正	P、S、A、Mモード時に設定可能、範囲：±5段、補正ステップ：1/3、1/2ステップに変更可能
オートブラケティング	- AEブラケティング時、撮影コマ数：3コマ、補正ステップ：1/3、1/2ステップ - ホワイトバランスブラケティング時、撮影コマ数：3コマ、補正ステップ：1ステップ - アクティブD-ライティングブラケティング時、撮影コマ数：2コマ
AEロック	AE (ON) ボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度 (推奨露光指数)	ISO 100～12800 (1/3ステップ)、ISO 12800にに対し約0.3、0.7、1段 (ISO 25600相当) の増感、感度自動制御が可能
アクティブ D-ライティング	暗Aオート、暗Hより強め、暗H強め、暗N標準、暗L弱め、OFFしない
オートフォーカス	
方式	TTL位相差検出方式：フォーカスポイント39点（うち、クロスタイプセンサー9点）、マルチCAM 4800DXオートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF補助光（約0.5～3 m）付
検出範囲	-1～+19 EV（ISO 100、常温（20℃））
レンズサーボ	- オートフォーカス（AF）：シングルAFサーボ（AF-S）、コンティニユアスAFサーボ（AF-C）、AFサーボモード自動切り換え（AF-A）を選択可能、被写体条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行 - マニュアルフォーカス（MF）：フォーカスイド可能
フォーカスポイント	- AF39点設定時：39点のフォーカスポイントから1点を選択 - AF11点設定時：11点のフォーカスポイントから1点を選択
AFエリアモード	シングルポイントAF、ダイナミックAF（9点、21点、39点）、オートエリアAF、3D-トラッキング
フォーカスロック	AE (ON) ボタン、またはシングルAFサーボ（AF-S）時にシャッターボタン半押し
フラッシュ	
内蔵フラッシュ	 、  、  、  、  、  、  、  時：オートポップアップ方式による自動発光 P、S、A、M、  時：押しボタン操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約12（マニュアルフル発光時約13）（ISO 100・m、20℃）
調光方式	2016分割RGBセンサーによるTTL調光制御：内蔵フラッシュ、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400またはSB-300でi-TTL-BL調光（マルチパターン測光または中央部重点測光）、スタンダードi-TTL調光（スポット測光）可能
フラッシュモード	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+スローシャッター、赤目軽減オート+スローシャッター、通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スローシャッター、赤目軽減発光+スローシャッター、後幕発光+スローシャッター、後幕発光、発光禁止
調光補正	範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3、1/2ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光による露出警告時は点滅
アクセサリシュー	ホットシュー（ISO 518）装備：シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック機構（ロック穴）付

フラッシュ	
ニコンクリエイティブライティングシステム	- SB-910、SB-900、SB-800またはSB-700を主灯、SU-800をコマンダーとしたアドバンストワイヤレスライティングに対応 - ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合わせで発光色温度情報伝達に対応
シンクロターミナル	ホットシューアダプター AS-15（別売）
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯（7種）、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル。プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能
ライブビュー撮影機能	
レンズサーボ	- オートフォーカス（AF）：シングルAFサーボ（AF-S）、常時AFサーボ（AF-F） - マニュアルフォーカス（MF）
AFエリアモード	顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ターゲット追尾AF
フォーカス	コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能（顔認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能）
おまかせシーン（シーン自動判別）	撮影モード  、  で使用可能
動画機能	
測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	マルチパターン測光
記録画素数/フレームレート	1920×1080：60p/50p/30p/25p/24p 1280×720：60p/50p 640×424：30p/25p ※ 60p：59.94fps、50p：50fps、30p：29.97fps、25p：25fps、24p：23.976fps ※ 30p/60pは【ビデオ出力】が【NTSC】の場合に選択可能 ※ 25p/50pは【ビデオ出力】が【PAL】の場合に選択可能 ※ 標準/高画質選択可能
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能（ステレオ録音）、マイク感度設定可能
感度	ISO 100～12800、ISO 12800に対し約0.3、0.7、1段（ISO 25600相当）の増感
液晶モニター	
液晶モニター	3.2型（3:2）TFT液晶モニター、約104万ドット（720×480×3＝1,036,800）、バリアングル方式、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能
再生機能	
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生（4、12、80分割またはカレンダーモード）、拡大再生、動画再生、スライドショー（静止画/動画選択再生可能）、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング、画像コメント入力可能（英数字36文字まで）
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB
ビデオ出力	NTSC、PAL

インターフェース	
HDMI出力	HDMIミニ端子 (Type C) 装備
アクセサリ ターミナル	- ワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10 (別売) - リモートコード: MC-DC2 (別売) - GPSユニット: GP-1/GP-1A (別売)
外部マイク入力	ステレオミニジャック (φ3.5mm) 装備、ステレオマイクロホンME-1 (別売) 使用可能
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
伝送方式	- IEEE802.11b: DSSS/CCK - IEEE802.11g: OFDM
周波数範囲 (中心周波数)	2412～2462 MHz (1～11ch)
通信距離 (見通し)	約30 m※ ※ 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。
データ転送速度 (規格値)	54 Mbps※ ※ 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
セキュリティ	認証方式: オープンシステム、WPA2-PSK 暗号方式: AES
無線設定	WPS対応
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
位置情報機能	
位置情報機能	受信周波数 1575.42 MHz (C/Aコード)、測地系 WGS 84
表示言語	
表示言語	日本語、英語
電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (1個使用)
ACアダプター	ACアダプター EH-5b (パワーコネクター EP-5Aと組み合わせて使用) (別売)
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法・質量	
寸法 (W×H×D)	約125×98×76 mm
質量	約530 g (バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く) 約480 g (本体のみ)
動作環境	
温度	0℃～40℃
湿度	85%以下 (結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件23℃ (±3℃) で、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18 ～ 24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時：約1時間50分 ※残量の少ない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約70×26×97 mm
質量	約96 g

■ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、1230 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約38×53×14 mm
質量	約49 g（端子カバーを除く）

■ レンズAF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR

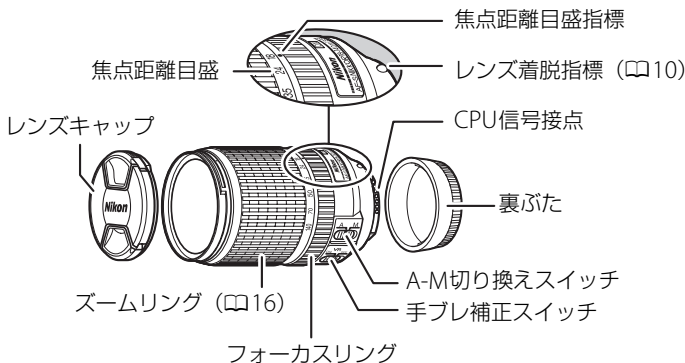
型式	ニコンF マウントCPU 内蔵G タイプ、AF-S DXレンズ
焦点距離	18 mm-140 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	12 群17 枚 (ED レンズ1 枚、非球面レンズ1 枚)
画角	76°- 11° 30'
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、140 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	IF (ニコン内焦) 方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
最短撮影距離※1	撮像面から0.45 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	• 焦点距離18 mm時 : f/3.5-22 • 焦点距離140 mm時 : f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	67 mm (P=0.75 mm)
寸法	約78 mm (最大径) × 97 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで)
質量	約490 g

※1 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

🔪 AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRについて

本書では、主にAF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRのレンズを使用して説明しています。
AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRの各部名称は次の通りです。



■■ レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR

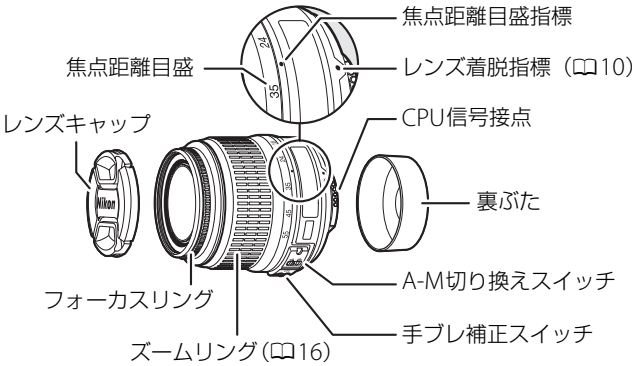
型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-Sレンズ
焦点距離	18 mm-55 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	8群11枚（非球面レンズ1枚）
画角	76°- 28° 50′
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント合わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離※	撮像面から0.28 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	・焦点距離18 mm時：f/3.5-22 ・焦点距離55 mm時：f/5.6-36
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	52 mm（P=0.75 mm）
寸法	約73 mm（最大径）×79.5 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約265 g

※ 距離基準マークは撮像面の位置を示します。

- ・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

🔪 AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VRについて

AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VRの各部名称は次の通りです。



商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OSおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSの商標は、米国およびその他の国におけるCisco のライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

認証マークの表示

セットアップメニューの「**認証マークの表示**」(□61)では、このカメラが取得している認証マークの一部を確認できます。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a(1230mAh)による電池寿命は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数（1コマ撮影モード）：約600コマ（CIPA基準準拠※1）
- 撮影可能コマ数（連続撮影モード）：約2000コマ（当社試験条件※2）
- 動画撮影可能時間：約50分※3

※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1回レリーズ（2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光）した後、液晶モニターを4秒間点灯。消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、温度23（±3）℃。

※2 レリーズモード 、フォーカスモードAF-C、画質モードBASIC、画像サイズM、ホワイトバランスAUTO、ISO 100、シャッタースピード1/250秒、シャッターボタンの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを4秒間点灯させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR（VR機能OFF）、温度20℃。

※3 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、温度23（±3）℃。カメラは初期設定状態。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分（1080/60pまたは1080/50p）です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

※バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- 位置情報機能を使用した場合
- GPSユニットを使用した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送で問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※ 内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00 (年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。